科目	1名	進路研	开究 I		指導担	当者名	就職担	当職員	
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	通年 前期・後期	月	対象学	科学年		全学科1年		
授業	方法	講義∶○	演 [:]	習:	実	말:	実	技:	
時間	間数	28 時間		週時間数		1₿	寺間		
学習到	達目標	・就職活動をする心構えの習・前期では、一般常識につい・後期では、履歴書作成を目	て学び、習得す	トる事を目標達		ే .			
・出席 評価方法 ・授業態度 評価基準 ・期末試験 上記成績評価を100点満点で点数化して総合評価する									
使用	教材	SUCCESS							
	1学習 方法	教科書復習							
学期	ターム	項目			内	容•準備資料	等		
	1	オリエンテーション		講師紹介 1-1	これからどう	生きるのか(宿	超として視聴)		
	2	就職活動の心構え身だしなみ	' +	1-1宿題振り返	返り 1-2 一生	でどのくらい稼	ぎげるのか		
	3	就職活動での身だしなみ		5-1~5-1(実践	編)身だしなみ	L.			
	4	就職活動の流れ		学校でのルー	ルと大学生、高	5校生、専門学	校生の違い		
	5	職業を知る		2-2 職種と業	種の違いが分	かるように *志	望動機は飛ば	します	
	6	情報収集 企業研究 資料證		2-2(宝践編):	単果マップの 理				

|情報収集、企業研究、資料請求 1 |2-2(実践編) 業界マッブの理解 授 情報収集、企業研究、資料請求 2 2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する 7 業 計 情報収集、企業研究、資料請求 3 2-3(実践編) 業界ごとに必要な仕事内容を理解する 自分自身を知る 自分史の作成 1 3-4から3-6-2 •3-4自己PRのネタを探す 9 前 3-4から3-6-2・3-4-1自己PRのネタを探す(経験) 自分自身を知る 自分史の作成 2 10 自分自身を知る 自分史の作成 3 3-4から3-6-2・3-4-2自己PRのネタを探す(特性) 11 自分自身を知る 自分史の作成 4 3-4から3-6-2 •3-5自己PRの骨格を作る 12 自分自身を知る 自分史の作成 5 3-4から3-6-2 •3-5自己PRの骨格を作る(実践編) 期末試験(一般常識) 自己PRの確認は必須 時間があれば一般常識など 14 期末試験フィードバック 15 期末試験フィードバック 16

履修上の留意点

科目名		進路研究 I			指導担当者名 就職担当職員			!当職員		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	通年 前期·後期	胡	対象学	科学年					
授業	方法	講義:〇	演 [:]	習:	実	習:	実	技:		
時	間数	28 時間		週時間数		18	寺間			
学習到	達目標	・就職活動をする心構えの習・前期では、一般常識につい・後期では、履歴書作成を目	て学び、習得す	片る事を目標達	事を目標達成ポイントとする。					
・出席 評価方法 評価基準 ・期末試験 上記成績評価を100点満点で点数化して総合評価する										
使用	教材	SUCCESS								
	朴学習 方法	教科書復習								
学期	ターム	項目			P	内容•準備資料	等			
	1	志望動機の作り方 1		3-7 業界、会	社にあった動	機作り				
	2	志望動機の作り方 2		3-7(実践編)	業界、会社に	あった動機作り				
	3	制作書類 1		3-8•3-8(実践	編)、3-1~3-3(実践編)、3-6~3	3-6-2エントリー	シート		
	4	制作書類 2		3-8•3-8(実践	編)、3-1~3-3(実践編)、3-6~3	3-6-2封筒の書	き方、添え状		
	5	制作書類 3		3-8•3-8(実践	編)、3-1~3-3(実践編)、3-6~3	3-6-2その他の	書類、履歴書		
	6	制作書類 4		3-8・3-8(実践	編)、3-1~3-3(実践編)、3-6~3	8-6-2履歴書の	完成		
授 業	7	企業訪問		5-1,5-2						
計	8	就職試験のマナー 1		5-2~5-3(実践	編)入退室					
画	9	就職試験のマナー 2		5-2~5-3(実践	編)面接試験	対策1				
後 期	10	就職試験のマナー 3		5-2~5-3(実践	編)面接試験	対策2				
	11	筆記試験対策 1		5-5,5-5(実践約	編)筆記試験	について、種類	で方法を知る			
	12	筆記試験対策 2		特に小論文の	書き方(内容に	は自己PRや志望	望動機をまとめ	 る内容がよい)		
	13	筆記試験対策 3		特に小論文の	書き方(内容に	は自己PRや志望	望動機をまとめ	 る内容がよい)		
	14	期末試験(履歴書)		履歴書提出						
	15	期末試験フィードバック						-		
	16	期末試験フィードバック								

2440 2. /					- ch 24 H± 25 4N 4	tub:	
授業外学習 の方法	なし						
使用教材	なし						
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習 数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点 る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と ∴優)、B(70点・	/テーションによ :認められる場 ~79点∶良)、C	たって行われ、 合には追試験 (60点~69点:	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	授業実施の出)点:不可)、の4	席率80%以上
学習到達目標	・様々な学科教員から、各分・前期では、目標達成ポイント ・後期では、目標達成ポイント	とする。	知識技術を学ん	S . °.			
時間数	56 時間		週時間数		2時	間	
授業方法	講義:〇	演 [:]	習:	実	習:	実	技:
開講時期	通年 前期・後期	j j	対象学	科学年		全学科1年	
実務経験						実務経験:	
科目名	クロスオー	バーゼミI		指導担	当者名	志村、佐	藤、渡邊

学期	ターム	項目	内容·準備資料等
	1	オリエンテーションロ	科目受講の注意点の説明
	2	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	3	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	4	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	5	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	6	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
授 業	7	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
計画	8	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	9	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
前期	10	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		

学期 5—7	頂日			rt	· 一次,淮 / 本 / 本 / 本 / 本		
授業外学習 の方法	なし						
使用教材	なし						
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習数配分し、100点満点で評価期末試験は実技試験や筆記を要件としている。期末試験成績評価は、A(80点~100点る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と i:優)、B(70点	/テーションによ :認められる場 ~79点∶良)、C	つて行われ、 合には追試験 (60点~69点:	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	授業実施の出)点:不可)、の4	席率80%以上
学習到達目標	・様々な学科教員から、各分・前期では、目標達成ポイント ・後期では、目標達成ポイント	トとする。	知識技術を学ん	S ° .			
時間数	56 時間		週時間数		2時	間	
授業方法	講義:〇	演	習:	実	習:	実	技:
開講時期	通年 前期・後期	切	対象学	科学年		全学科1年	
実務経験						実務経験:	
科目名	クロスオー	バーゼミI		指導担	当者名	志村、佐	藤、渡邊

学期	ターム	項目	内容·準備資料等
	1	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	2	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	3	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	4	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	5	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	6	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
授 業 計	7	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
計画	8	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	9	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
後 期	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16 ⊙ আ ≠ J	_	

科目	名	デジタルソ	指導担当者名 丸子 遥華							
実務経験		広告代	理店、デザイン	ン制作業務に3:	年従事		実務経験:	有		
開講	時期	通年 前期・後期	坍	対象学科学年 コミックイラスト科、コミックマスター和 寅習: 実習:〇 実技:						
授業	方法	講義:	演	習:	実習	1:O	実	技:		
時間	間数	84時間		週時間数		3時	間			
学習到	達目標	・デジタルにおけるイラスト表 ・フォトショップ、イラストレータ ・フォトショップ検定初級を取・イラストレーター検定初級を	マーの使用技術 得する(12月実	iの習得 施予定)						
評価方法 評価基準		学期末試験の実施及び実習 数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点 る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と ∷優)、B(70点・	·テーションによ 認められる場。 ~79点: 良)、C	って行われ、 合には追試験る 60点~69点:F	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	授業実施の出)点:不可)、の4	席率80%以上		
使用	教材	材 Machintosh PC,IllustratorクイックマスターCC(Win/Mac)対応,PhotoshopクイックマスターCC(Win/Mac)対応								
授業外学習 ・テキストを使っての事前予習・テキス				を使っての実技練習						
学期	ターム	項目			内	容•準備資料	等			
	1	Illustrator検定対策(スタンダ	ー ド)	クイックマスタ-	−Illustratorの基	基礎知識/イン	ターフェース・ツ	ール・パネル		
	2	Illustrator検定対策(スタンダ	ー ド)	クイックマスターIllustratorの基礎知識/アートワーク・アートボードナビゲーター・ガイド・						
	3	Illustrator検定対策(スタンダ	− F)	クイックマスタ-	ーIllustratorの	基本操作/オス	ブジェクトの設況	と描画		
	4	Illustrator検定対策(スタンダ	− F)	クイックマスターI	lustratorの基本掛	操作/編集操作(CP・前後関係・グ	ループ化・移動)		
	5	Illustrator検定対策(スタンダ	− F)	クイックマスターIII	ustratorの基本操	作/カラー設定・I	レイヤーオブジェク	小の組み合わせ		
	6	Illustrator検定対策(スタンダ	− F)	クイックマスター	ーIllustratorの	基本操作/文:	字の作成・文字	関連の機能		
授	7	Illustrator検定対策(スタンダ	− F)	クイックマスタ-	ーIllustratorの	基本操作/パ	スの基本的な抗	 歯画と編集		
業計	8	Illustrator検定対策(スタンダ	− F)	クイックマスタ-	ーIllustratorの』	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ヒアピアランス			
画	9	Illustrator検定対策(スタンダ	− F)	クイックマスタ-	ーIllustratorの』		イアウトの補助			
前 期	10	Illustrator検定対策(スタンダ	− F)	クイックマスター	-Illustratorの応	 用操作/グラデ	ーション・スウォ	ッチ・パターン		
	11	過去問題		 スタンダ <i>ー</i> ド模		ž				
	12	過去問題		 スタンダ <i>ー</i> ド模	擬問題−2 解診	ž				
	13	前期期末試験		実際の試験同	様の時間で知	識と実技試験の	の実施			
	14	期末試験フィードバック		検定試験前の	最終確認授業					
	15									
	16									
履修上(の留意点 出席率:	。 が80%に満たない場合は、期	末試験の受験	資格を与えない	`					

対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

デジタルソフト実習 Ι

指導担当者名

丸子 遥華

実務	経験	広告代:	理店、デザイン	ザイン制作業務に3年従事 実務経験: 有						
開講	時期	通年 前期・後期	l	対象学	対象学科学年コミックイラスト科、コミックマスター科					
授業	方法	講義:	演							
時間	引数	84時間		週時間数		3時	持間			
学習到	達目標	・デジタルにおけるイラスト表ま・フォトショップ、イラストレータ・フォトショップ検定初級を取得・イラストレーター検定初級を「	一の使用技術 骨する(12月実	iの習得 施予定)						
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況な数配分し、100点満点で評価している。 評価方法 評価基準 評価基準 を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階記る。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。							30%以	上		
		Machintosh PC,Illustratorクイ	ックマスターCo	C(Win/Mac)対	応,Photoshop	ウイックマスタ-	−CC(Win/Mac)対応	,	
授業外学習 の方法 ・テキストを使っての事前予習 ・テキストを使っての実技練習										
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等			
	1	Photoshop検定対策(スタンダ	·一ド)	クイックマスタ―Pho	otoshopの基礎知識/	/ インターフェース・	ドキュメントウィンドウ	ハーツーハ	レ・パネ	トル
	1 2	Photoshop検定対策(スタンダード) クイックマスターPhotoshopの基礎知識/画面表示・色の選択・環境設							没定	
	3	Photoshop検定対策(スタンダ	·一ド)	クイックマスタ	—Photoshopの	基本操作/選	【択ツ一ル・範囲	目の読	み辺	込み
	4	Photoshop検定対策(スタンダ	·一ド)	クイックマスタ	—Photoshopの	基本操作/画	像解像度とサ	イズト	リミン	ノグ
	5	Photoshop検定対策(スタンダ	·—ド)	クイックマスタ	—Photoshopの	基本操作/変	形・カラーモー	ド色訓	周補፲	E
	6	Photoshop検定対策(スタンダ	· - F)	クイックマスター	−Photoshopの基	基本操作/ペイ	ント・レタッチ・レ	イヤー	-の _持	操作
授 業	7	Photoshop検定対策(スタンダ	.—k)	クイックマスターPho	toshopの基本操作/	′パス・切抜・シェイフ	プ・フィルター・テキス ト	の入力	につい	いて
計	8	Photoshop検定対策(スタンダ	· - ド)	クイックマスターF	Photoshopの応用技	操作/コンテンツ:	制作・ロゴ制作/フ		ゝシェ・	イプ
画	9	Photoshop検定対策(スタンダ	· - F)	クイックマスター	Photoshopの応用	操作/コンテン	ツ制作・フォトカー	ード/フ	アクシ	ョン
後 期	10	Photoshop検定対策(スタンダ	_F)	クイックマスタ	ーPhotoshopの	応用操作/W	ebページの制化	乍		
	11	過去問題		スタンダード様	類問題−1 解診	ź				
	12	過去問題		スタンダード 様	擬問題−2 解訪	ź				
	13	前期期末試験		実際の試験同	様の時間で知	識と実技試験の	の実施			
	14	期末試験フィードバック		検定試験前の	最終確認授業					
15										
	16									
履修上	の留意点		+=450005	次 払 ナ ト こ よい						

科目名

科目	3名	コミックイラ	スト実習Ⅰ		指導担	当者名	大坂	美智子		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	通年 前期・後期	玥	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科 1年		
授業	方法	講義:	演	習:	実習	B:O	実	技:		
時間	『数	56時間		週時間数	<u> </u>	2時	持間			
学習到	達目標	イラスト投稿雑誌「SSスモー に作品を仕上げる経験を重れ						ハく。期日まで		
評価方法 評価基準		学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。								
る。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 使用教材 Machintosh PC・スマートフォン・iPad・アップルペンシル・ペンタブレット他画材 授業外学習 の方法 課題作品の制作										
		課題作品の制作	題作品の制作							
学期	ターム	項目			内]容·準備資料	等			
	1	授業説明		授業内容・成績	 責評価方法 · 投	稿する雑誌説	—— 明			
	2	イラスト制作、個別指導		一人ずつ面談	を行い、各自の	り目標やイラス	トの傾向を絞っ	っていく		
	3	傾向対策		ss掲載作品の	分析					
	4	イラスト制作①		投稿用イラスト	の下書きチェ	ック				
	5	イラスト制作①		制作及び投稿						
	6	傾向対策		雑誌掲載作品	の分析 自分の	 のオリジナリテ	ィの方向性を検	討する		
授 業	7	イラスト制作②		キャラクターの	表情に特化し	たイラスト投稿	下書き			
計	8	イラスト制作②		制作及び投稿						
画	9	イラスト制作③		ss掲載作品の		絵柄の分析				
前 期	10	イラスト制作③		作品投稿						
	11	期末テスト		投稿履歴確認	と投稿作品の	最終提出日				
	12	期末振り返り		前期振り返りと	҈.・夏休み課題:	 発表				
	13	期末試験フィードバック								
	14	期末試験フィードバック								
	15									
	16									
履修上(র が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は、遠隔授業も		資格を与えない						

科目	目名	コミックイラ	スト実習 Ι		指導担	当者名	大坂	美智子		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	通年 前期・後期	1	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科 1年		
授業	方法	講義:	演	習:	実習	B:O	実	技:		
時間	引数	56時間		週時間数		2時	間			
学習到	達目標	イラスト投稿雑誌「SSスモー」 に作品を仕上げる経験を重ね						ハく。期日まで		
評価方法 評価基準		数配分し、100点満点で評価し期末試験は実技試験や筆記を要件としている。期末試験は成績評価は、A(80点~100点	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。							
使用教材 Machintosh PC・スマートフォン・iPad・アップルペンシル・ペンタブレット他画材 授業外学習 の方法 課題作品の制作										
		課題作品の制作								
学期	ターム	項目			内]容·準備資料	等			
	1	授業説明		授業内容•成績	責評価方法・投	(稿する雑誌説	明			
	2	個別確認		一人ずつ面談	を行い、各自の	の目標やイラス	トの傾向を絞っ	っていく		
	3	イラスト制作⑤		投稿イラストの	下書きチェック	7				
	4	イラスト制作⑤		オリジナル表現	見の方向性の	確認				
	5	イラスト制作⑤		制作及び投稿						
	6	イラスト制作⑥		制作及び投稿						
授業	7	イラスト制作⑥		オリジナル表現	見のイラスト制	作完成、発表、	投稿			
業計	8	イラスト制作⑧		制作及び投稿						
画	9	イラスト制作⑧		季刊s、ssテー	マイラストの個	別添削				
後 期	10	後期末考査		季刊s、ssテー	マイラストの完	成、投稿確認				
	11	期末試験フェードバック								
	12	期末試験フェードバック								
	13	期末試験フェードバック								
	14	期末試験フェードバック								
	15									
	16									
履修上(が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は、遠隔授業も		資格を与えない	`					

科目	1名	クロッキーデッサン実習 I			指導担当者名		丸山 悦代				
実務経験開講時期							実務経験:				
開講時期 通年 前期・後期 対象学科学年 コミックイラスト科、コミックマスター和 授業方法 講義: 演習: 実習: O 実技:						スター科 1年					
授業	方法	講義:	演	習:	実習	T:0	実	技:			
時間	引数	84時間		週時間数		3時	間				
学習到	達目標	基礎的な描写力の向上と観察 ドバック)を学ばせ、今後の作					カ、執着心、リ ・	テイク、フィー			
評価方法 評価基準		数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。								
使用	使用教材 スケッチブック、画用紙、鉛筆・モチーフ等、デッサンの実習に必要と思われるもの全般										
授業外学習 の方法 デッサンの練習											
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等				
	1	オリエンテーション・手のデッ	サン	各生徒の自己紹介や	b講師紹介、授業の-	-年の流れ等の説明	。画材準備後、自らの	D手を描いてみる。			
	2	幾何石膏体	モチーフを計測	削する。円柱や	立方体等の石	膏立体を描く。					
	3	風景スケッチ		学校エリア内を	を散策し、スケ	ッチする。					
	4	静物①(マグカップ)		各自、マグカッ	プを持参。単糸	吨な日用品を描	i<.				
	5	静物②(野菜or果物)		各自、野菜かり	果物を1個持参	。自然物を描く	८ .				
	6	静物③(お椀とお皿)		各自、円の構造	告体の日用品?	を描く。					
授	7	静物④(箱)		各自、500ml0	の紙パックジュ	一スを持参。ロ	ゴ入りで描く。				
業計	8	静物⑤(チョコレート)		各自、チョコレ・		ースごと、ロゴ	入りで描く。				
画	9	静物⑥(バッグ、リュック)		各自、自身の	バッグもしくは!	 Jュックを描く。					
前 期	10	静物⑦(中身入りペットボトル)	各自、ペットボ	 トルを持参。液	体と固形をデ	ッサンで表現す	·る			
	11	期末考査対象課題:自画像		喜・怒・哀・楽の中か	いら表情をひとつ選ば	び、自画像を描く。名	外自、鏡を持参する 。	2週連続の課題。			
	12	期末考査対象課題:自画像		喜・怒・哀・楽の中か	ら表情をひとつ選び	『、自画像を描く。各	自、鏡を持参する。2	2週連続の課題。			
	13	発表		作品発表							
	14	まとめ		デッサン法の復	复習、まとめ						
	15	期末試験フィードバック									
	16	期末試験フィードバック									
履修上([が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は 遠隔授業+。		 資格を与えなし	`						

科目	目名	クロッキーデッサン	実習I		指導担	.当者名	丸山	悦代
実務	経験						実務経験:	
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科 1年
授業	方法	講義:	演習	:	実習	: O	実	技:
時間	間数	84時間		週時間数		3時	持間	
学習到	達目標	基礎的な描写力の向上と観察力を ドバック)を学ばせ、今後の作品制・					カ、執着心、リ ・	テイク、フィー
数配分 評価方法 期末試 評価基準 を要件 成績評		学期末試験の実施及び実習成果の数配分し、100点満点で評価してい期末試験は実技試験や筆記試験、を要件としている。期末試験の結果成績評価は、A(80点~100点:優)、る。A、B、Cの評価は合格として単	る。 プレゼンテ L、必要と認 B(70点~)	テーションによ 忍められる場合 79点:良)、C(って行われ、 合には追試験 60点~69点:	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	授業実施の出 9点:不可)、の4	席率80%以上
使用	教材	スケッチブック、画用紙、鉛筆・モチ	一フ等、デ	ッサンの実習	に必要と思れ	れるもの全般		
授業を	小学習 方法	デッサンの練習						
学期	ターム	項目			Þ	容・準備資料	等	
	1	スプーンを持った手	前	前期デッサンσ	つ復習と振り返	らりをする。		
	2	人物クロッキ一①	クロ	ロッキーによって人	、体のプロポーション	・やポージングの確認	恩をする。生徒が交代	でモデルをする。
		人物クロッキー②	クロ	ロッキーによって人	、体のプロポーション	・やポージングの確認	型をする。生徒が交代 でする。	でモデルをする。
	3							
	4	期末考査対象課題:自画像	喜	· 怒·哀·楽の中か	ら表情をひとつ選び	び、自画像を描く。各	自、鏡を持参する。3	3週連続の課題。
		期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像					自、鏡を持参する。3	
	4		喜	・怒・哀・楽の中か	ら表情をひとつ選び	び、自画像を描く。各		3週連続の課題。
授業	4 5	期末考査対象課題:自画像	喜喜	・怒・哀・楽の中か・怒・哀・楽の中か	ら表情をひとつ選の	び、自画像を描く。各 が、自画像を描く。各	自、鏡を持参する。3	3週連続の課題。
業計	4 5 6	期末考査対象課題:自画像期末考査対象課題:自画像	喜喜	・怒・哀・楽の中か・怒・哀・楽の中か	ら表情をひとつ選の	び、自画像を描く。各 が、自画像を描く。各	自、鏡を持参する。3	3週連続の課題。
業計画:	4 5 6 7	期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像	喜喜	・怒・哀・楽の中か・怒・哀・楽の中か・怒・哀・楽の中かF品発表	ら表情をひとつ選(ら表情をひとつ選(ら表情をひとつ選(び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各	自、鏡を持参する。3	3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。
業計	4 5 6 7 8	期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像	喜喜	・怒・哀・楽の中か ・怒・哀・楽の中か ・怒・哀・楽の中か ・品発表 「り畳みの鏡と手	ら表情をひとつ選びら表情をひとつ選びら表情をひとつ選び	び、自画像を描く。各 が、自画像を描く。各 が、自画像を描く。各 好きなように構成	自、鏡を持参する。く	3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。
業計画前	4 5 6 7 8	期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 発表	喜喜作折折折	・怒・哀・楽の中か・怒・哀・楽の中か・怒・哀・楽の中か ・恐・哀・楽の中か ・品発表 「り畳みの鏡と手	ら表情をひとつ選()ら表情をひとつ選()ら表情をひとつ選(袋を各自持参し、 袋を各自持参し、	び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 好きなように構成 好きなように構成	自、鏡を持参する。 (自、鏡を持参する。 (自、鏡を持参する。 (にデッサンする。 2	3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 週連続の課題。 週連続の課題。
業計画前	4 5 6 7 8 9	期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 発表 期末考查対象課題:卓上静物①	喜 喜 作 折 折	・怒・哀・楽の中か・怒・哀・楽の中か・怒・哀・楽の中か・野・品発表 「り畳みの鏡と手」	ら表情をひとつ選び ら表情をひとつ選び ら表情をひとつ選び 袋を各自持参し、 袋を各自持参し、好	が、自画像を描く。各 が、自画像を描く。各 が、自画像を描く。各 好きなように構成 好きなように構成し きなように構成し	自、鏡を持参する。3 自、鏡を持参する。3 自、鏡を持参する。3 にレデッサンする。2 にレデッサンする。2	3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 週連続の課題。 週連続の課題。 週連続の課題。
業計画前	4 5 6 7 8 9 10	期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 発表 期末考查対象課題:卓上静物① 期末考查対象課題:卓上静物①	喜 喜 客 作 折 折 自 自	・怒・哀・楽の中か ・怒・哀・楽の中か ・怒・哀・楽の中か ・・器・哀・楽の中か ・・器・なる・楽の中か ・・器・なる・楽の中か ・・器・なる・楽の中か ・・器・なる・楽の中か ・・器・なる・楽の中か ・・なる・なる・なる・なる・なる・なる・なる・なる・なる・なる・なる・なる・なる	ら表情をひとつ選べ ら表情をひとつ選べ ら表情をひとつ選べ 袋を各自持参し、 袋を各自持参し、好 を各自持参し、好	び、自画像を描く。各 が、自画像を描く。各 が、自画像を描く。各 好きなように構成 好きなように構成し きなように構成し	自、鏡を持参する。な 自、鏡を持参する。な 自、鏡を持参する。な にレデッサンする。2 にレデッサンする。2 デッサンする。2	3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 週連続の課題。 週連続の課題。 週連続の課題。
業計画前	4 5 6 7 8 9 10 11	期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 発表 期末考查対象課題:卓上静物① 期末考查対象課題:卓上静物① 期末考查対象課題:卓上静物①	喜 喜 作 折 折 自 自	・怒・哀・楽の中か ・怒・哀・楽の中か ・怒・哀・楽の中か ・・器・哀・楽の中か ・・器・なる・楽の中か ・・器・なる・楽の中か ・・器・なる・楽の中か ・・器・なる・楽の中か ・・器・なる・楽の中か ・・なる・なる・なる・なる・なる・なる・なる・なる・なる・なる・なる・なる・なる	ら表情をひとつ選べ ら表情をひとつ選べ ら表情をひとつ選べ 袋を各自持参し、 袋を各自持参し、好 を各自持参し、好	び、自画像を描く。各 が、自画像を描く。各 が、自画像を描く。各 好きなように構成 好きなように構成し きなように構成し	自、鏡を持参する。な 自、鏡を持参する。な 自、鏡を持参する。な にデッサンする。2 にデッサンする。2 デッサンする。2 デッサンする。2	3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 週連続の課題。 週連続の課題。 週連続の課題。
業計画前	4 5 6 7 8 9 10 11 12	期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 発表 期末考查対象課題:卓上静物① 期末考查対象課題:卓上静物① 期末考查対象課題:卓上静物② 期末考查対象課題:卓上静物②	喜喜作折折自自自作	・怒・哀・楽の中か・怒・哀・楽の中か・・怒・哀・楽の中か・・怒・哀・楽の中か 日品発表 はり畳みの鏡と手は畳みの鏡と手はこある静物なる まにある静物なる またにある静物なる またにある またにある かなる またにある かなる またしまる もんきん しょうしょう しょう	ら表情をひとつ選び ら表情をひとつ選び ら表情をひとつ選び 袋を各自持参し、 袋を各自持参し、好 を各自持参し、好 を各自持参し、好 を各自持参し、好	び、自画像を描く。各 が、自画像を描く。各 が、自画像を描く。各 好きなように構成 好きなように構成し きなように構成し	自、鏡を持参する。3 自、鏡を持参する。3 自、鏡を持参する。2 にデッサンする。2 にデッサンする。2 デッサンする。2 デッサンする。3	3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 週連続の課題。 週連続の課題。 週連続の課題。
業計画前	4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 期末考查対象課題:自画像 発表 期末考查対象課題:卓上静物① 期末考查対象課題:卓上静物① 期末考查対象課題:卓上静物② 期末考查対象課題:卓上静物② 帮表	喜喜作折折自自自作	・怒・哀・楽の中か・怒・哀・楽の中か・・怒・哀・楽の中か・・怒・哀・楽の中か 日品発表 はり畳みの鏡と手は畳みの鏡と手はこある静物なる まにある静物なる またにある静物なる またにある またにある かなる またにある かなる またしまる もんきん しょうしょう しょう	ら表情をひとつ選び ら表情をひとつ選び ら表情をひとつ選び 袋を各自持参し、 袋を各自持参し、好 を各自持参し、好 を各自持参し、好 を各自持参し、好	が、自画像を描く。各 が、自画像を描く。各 が、自画像を描く。各 好きなように構成 好きなように構成し きなように構成し きなように構成し きなように構成し	自、鏡を持参する。3 自、鏡を持参する。3 自、鏡を持参する。2 にデッサンする。2 にデッサンする。2 デッサンする。2 デッサンする。3	3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 週連続の課題。 週連続の課題。 週連続の課題。

科目	1名	背景制作	制作実習 I 指導担当者名 志村 早織			早織						
実務	経験						実務経験:					
開講	時期	通年 前期・後期	Ħ	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	'スター科 1年				
授業	方法	講義:	演	習:	実習	7:0	実	技:				
時間	『数	56時間		週時間数		2時	間					
学習到達目標		背景を、正確な遠近法を用い 一点透視図法、二点透視図法				養う						
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などで数配分し、100点満点で評価している。 評価方法								席率80%以上				
授業を	卜学習 5法	課題制作										
学期	ターム	項目			内	容・準備資料						
学期	ターム 1	項目 オリエンテーション		授業目的、内:	容、背景の重要		*					
学期				授業目的、内:	容、背景の重要		等					
学期	1	オリエンテーション			容、背景の重要		**					
学期	1 2	オリエンテーション 一点透視図法		一点透視図法 構図 人物の	容、背景の重要	E性	**					
学期	1 2 3	オリエンテーション 一点透視図法 一点透視図法		一点透視図法 構図 人物の 一点透視図法	容、背景の重要 の基本 関係性	作画	77					
学期	1 2 3 4	オリエンテーション 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法		一点透視図法 構図 人物の 一点透視図法	容、背景の重要の基本 関係性 を用いた背景を	作画	等					
授	1 2 3 4 5	オリエンテーション 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法		一点透視図法構図 人物の一点透視図法一点透視図法	容、背景の重要の基本 関係性 を用いた背景である。	作画	*					
授業計	1 2 3 4 5 6	オリエンテーション - 点透視図法		一点透視図法 構図 人物の 一点透視図法 一点透視図法 二点透視図法 構図 人物の	容、背景の重要の基本 関係性 を用いた背景である。	作画						
授業計画	1 2 3 4 5 6 7	オリエンテーション 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法		一点透視図法 構図 人物の 一点透視図法 一点透視図法 二点透視図法 構図 人物の 二点透視図法	容、背景の重要の基本 関係性 を用いた背景で を用いた背景での基本 関係性	作画作画作画	**************************************					
授業計	1 2 3 4 5 6 7 8	オリエンテーション 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法		一点透視図法 構図 人物の 一点透視図法 一点透視図法 二点透視図法 構図 人物の 二点透視図法	容、背景の重要の基本 関係性 を用いた背景である。 の基本 関係性 を用いた背景である。 を用いた背景である。	作画作画作画	*					
授業計画 前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 9	オリエンテーション 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法		一点透視図法 構図 人物の 一点透視図法 一点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 構図 人物の 二点透視図法	容、背景の重要の基本 関係性 を用いた背景でを用いた背景である。 関係性 を用いた背景である。 関係性 を用いた背景である。	作画作画作画	*					
授業計画 前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	オリエンテーション 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法 一点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法		一点透視図法 構図 人物の 一点透視図法 一点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法	容、背景の重要の基本 関係性 を用いた背景でを用いた背景である。 関係性 を用いた背景である。 関係性 を用いた背景である。	作画作画作画	77					
授業計画 前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	オリエンテーション ー点透視図法 ー点透視図法 ー点透視図法 ー点透視図法 ー点透視図法 ニ点透視図法 ニ点透視図法 ニ点透視図法 ニ点透視図法 ニ点透視図法 ニ点透視図法 ニ点透視図法		一点透視図法 構図 人物の 一点透視図法 一点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 二点透視図法 構図 人視図法 三点透視図法	容、背景の重要の基本 関係性 を用いた背景である 関係性 を用いた背景である 関係性 を用いた背景である。	作画作画作画	*					

16

期末試験フィードバック 期末試験フィードバック

科目	1名	背景制作	F実習 I		指導担	当者名	志村	早織		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	通年 前期・後期	月	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科 1	年	
授業	方法	講義:	演	習:	実習	∃ :O	実	支:		
時間	引数	56時間		週時間数		2時	持間			
学習到	達目標	背景を、正確な遠近法を用い 一点透視図法、二点透視図》				·養う				
評価		学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況など 数配分し、100点満点で評価している。 朝末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80% を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 或績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評値 る。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。								
使用教材 各種画材										
	受業外学習 の方法 課題制作									
学期	ターム	項目		内容·準備資料等						
	1	背景の描き方の復習		透視図の復習	」。各種比較と遠	 韋い、注意点				
	2	デジタルイラストの背景			<u>。日 怪 </u>					
	3	デジタルイラストの背景		背景に使える	テクスチャ制作	作品制作				
	4	イラスト制作①		透視図を用いて、実在する建物と人物のイラスト制作						
	5	イラスト制作①		透視図を用い	 て、実在する 建	 ≣物と人物のイ	ラスト制作 添き	—————————————————————————————————————		
	6	イラスト制作①		透視図を用い	 て、実在する 建	 ≣物と人物のイ	ラスト制作 完成	 衣		
授 業	7	イラスト制作②		透視図を用い	て、想像上の属	風景のカラーイ [:]	ラスト制作			
計	8	イラスト制作②		透視図を用い	て、想像上の属	ー 虱景のカラーイ	ラスト制作 添き	—————————————————————————————————————		
画	9	イラスト制作②		透視図を用い	て、想像上の属	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	ラスト制作 完成	 戎		
後期	10	イラスト制作②		世界観がわか	る背景を描いた	た小説の挿絵制	制作			
	11	期末課題制作		世界観がわか	る背景を描いた	た小説の挿絵制				
	12	期末課題制作		世界観がわか	る背景を描いた	た小説の挿絵制	制作			
	13	課題確認		期末課題発表	:					
	14	発表		期末課題発表	:					
	15	振り返り		期末課題展示	;					
	16	期末試験フィードバック								
履修上(10									

	科目	目名	キャラクター	·制作実習 I	作実習 I 指導担当者名 志村 ₋ 早織							
	実務	経験						実務経験:				
	開講	時期	通年 前期・後期・後期・後期・後期・後期・後期・後期	胡	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	'スター科	1年		
	授業	方法	講義:	演	習:	実習	∄ :O	実	技:			
	時間	引数	56時間		週時間数		2周	持間				
Ė	学習到	達目標	・人物の基本的構造を理解す ・人物描画の基礎を身に付け ・背景描画の基礎を身に付け ・背景と人物が同じ空間にい	tā tā	感なく描ける							
	評価評価		数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点	明末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点己分し、100点満点で評価している。 民試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上配件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 責評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とすA、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。								
	使用	教材	手書き資料									
	授業タ		課題制作									
	学期	ターム	項目			Þ	容・準備資料	等				
		1	自己紹介		自己紹介							
		2	顔を描く		男女の描き分	け(女)						
		3	顔を描く		年齢の描き分	け(男)						
		4	顔を描く		アオリ							
		5	手を描く 基本の動き、男女の違い(女)									
		6	足を描く		基本の動き、	男女の違い(男)					
	授業	7	全身を描く		男女の描き分	け、等身につい	いて(女)					
	業計	8	全身を描く		男女の描き分	け、等身につい	ヽて(男)					
	画	9	全身を描く		男女の描き分	け、等身につい	····································					

全身イラストA4 テーマ:水着(課題発表)

全身イラストA4 テーマ:水着(発表会)

個別指導

全身イラストA4 テーマ:水着(課題提出)

全身イラストA4 テーマ:水着(進捗チェック及びアドバイス)

履修上の留意点

前

10

11

12

14

15

16

期末課題

期末課題

期末課題

期末課題

振り返り

期末試験フィードバック

期末試験フィードバック

科目	目名	キャラクター	制作実習I		指導担	当者名	志村	早織				
実務	経験						実務経験:					
開講	時期	通年 前期・後期	月	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科	1年			
授業	方法	講義:	演	習:	実習	∄ ∶O	実	支:				
時間	『数	56時間		週時間数		2時	間					
学習到	達目標	・人物の基本的構造を理解す ・人物描画の基礎を身に付け ・背景描画の基礎を身に付け ・背景と人物が同じ空間にい	-る -る	感なく描ける								
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを対数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とる。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 使用教材 手書き資料								以上				
使用	教材	オーチ書き資料										
授業外学習 の方法 課題制作												
学期	ターム	項目		内容·準備資料等								
	1	表情		喜怒哀楽	喜怒哀楽							
	2	動き		コントラポスト								
	3	オリジナルキャラづくり		イメージを膨らませる								
	4	期末課題		三面図(二週連続課題)								
	5	期末課題		三面図(二週連続課題)								
	6	振り返り		返却、アドバイ	ス							
授 業	7	期末課題		テーマイラスト	制作 テーマ:	全身						
計	8	期末課題		テーマイラスト	制作 テーマ:	全身(イラスト制	训作)					
画	9	期末課題		テーマイラスト	制作 テーマ:	全身(中間確認	图)					
後 期	10	期末課題		テーマイラスト	制作 テーマ:	全身(アドバイ)	ス)					
	11	期末課題		テーマイラスト	制作 テーマ:	全身(最終提出	4)					
	12	期末課題		期末課題の確	認、質問、個別	川指導						
	13	課題確認		期末課題の発	表							
	14	発表		提出後、アドバ	バイス							
	15	振り返り		個別指導								
	16	期末試験フィードバック										
履修上	10											

 科E]名	pixiv演	 [習 I		指導担	当者名	藤岡「	 河比努		
実務	経験	デザイン制	 作会社、デザ	イン制作業務に	こ2年従事		実務経験:	有	Ī	
開講	時期	通年 前期・後期	A A	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	 スター科	1年	
授業	方法	講義:	演習	i:O	実習	ਭੂ :	実	支:		
時間	間数	84時間		週時間数		3時	謂			
学習到	達目標	・クリエイターにかかわる最新 ・イラストコミュニケーションサ ピクシブ株式会社アサインの クリエイティブな環境について	ービス「pixiv」? クリエイターか	を運営している ら、現在の技術	·うこれから発展	していく				
評価評価	方法 基準	数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験の 成績評価は、A(80点~100点	している。 試験、プレゼン D結果、必要と :優)、B(70点・	レゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以必要と認められる場合には追試験を実施する。 (70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。						
使用	l教材	Machintosh PC,・スマートフォ	ntosh PC,・スマートフォン・iPad・アップルペンシル・ペンタブレット							
	業外学習 pixiv sensei機能を使った復習 pixiv sensei機能を使った復習									
学期	ターム	項目			内	容∙準備資料	等			
学期	1	オリエンテーション		担当教員紹介及び授業内容確認						
	2	キャラクターデザイン①		創作キャラの簡	「潔な紹介、プロ	フィールの作成	 及び個別指導(2	2週連続	課題)	
	3	キャラクターデザイン①		創作キャラの簡	「潔な紹介、プロ	 フィールの作成	 及び個別指導(2	☑ 連続	課題)	
	4	キャラクターデザイン②		三面図を描く及	及び個別指導(2	2週連続課題)				
	5	キャラクターデザイン②		三面図を描く及	及び個別指導(2	 2週連続課題)				
	6	キャラクターデザイン③		表情差分を描	く及び個別指導	〔2週連続課題	頁)			
授 業	7	キャラクターデザイン③		表情差分を描	く及び個別指導		頁)			
計	8	イラスト制作		自分の創作キャ	ラの一枚絵(背景	を含めた)を描く	(及び個別指導(2	週連続談	果題)	
画	9	イラスト制作			ニの #な/北見		プログロの計与道(2	调連続調	#題)	
		1 2241 163115		自分の創作キャラの一枚絵(背景を含めた)を描く及び個別指導(2週連続課題)						
前期	10	pixivfactory制作			用したグッズを					
				自分の絵を使		制作する(Pixi	vFACTORY使序	用方法)		
	10	pixivfactory制作		自分の絵を使用	用したグッズを	制作する(Pixi 作する及び個別	vFACTORY使月 別指導(アイデア	用方法)		
	10	pixivfactory制作 pixivfactory制作		自分の絵を使用自分の絵を使用自分の絵を使用	用したグッズを 用したグッズを制	制作する(Pixi 作する及び個別	vFACTORY使月 別指導(アイデア	用方法)		
	10 11 12	pixivfactory制作 pixivfactory制作 pixivfactory制作		自分の絵を使用自分の絵を使用自分の絵を使用	用したグッズを制 用したグッズを制 用したグッズを の確認、まとめ	制作する(Pixi 作する及び個別	vFACTORY使月 別指導(アイデア	用方法)		
	10 11 12 13	pixivfactory制作 pixivfactory制作 pixivfactory制作 まとめ		自分の絵を使用自分の絵を使用自分の絵を使用 自分の絵を使用 学習した内容(用したグッズを制 用したグッズを制 用したグッズを の確認、まとめ	制作する(Pixi 作する及び個別	vFACTORY使月 別指導(アイデア	用方法)		
	10 11 12 13 14	pixivfactory制作 pixivfactory制作 pixivfactory制作 まとめ		自分の絵を使用自分の絵を使用自分の絵を使用 自分の絵を使用 学習した内容(用したグッズを制 用したグッズを制 用したグッズを の確認、まとめ	制作する(Pixi 作する及び個別	vFACTORY使月 別指導(アイデア	用方法)		

対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

科	目名	pixiv演	[習 I		指導担	当者名	藤岡	阿比努		
実務	経験	デザイン制	作会社、デサ	「イン制作業務」	こ2年従事		実務経験:	有		
開講	時期	通年 前期·後期	1	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科 1年		
授業	方法	講義:	演習	3 ∶O	実	習:	実	技:		
時	間数	84時間		週時間数		3時	持間			
学習到	達目標	・クリエイターにかかわる最新 ・イラストコミュニケーションサ ピクシブ株式会社アサインの・ クリエイティブな環境について	ービス「pixiv」 クリエイターか	ー を運営している いら、現在の技術	げ・これから発↓	展していく				
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを数配分し、100点満点で評価している。 評価方法							席率80%以上			
恒秦州 宗辺										
	授業外学習 の方法 pixiv sensei機能を使った復習									
学期	ターム	項目			Þ	内容·準備資料	等			
丁树	1	「VRoid」3Dアバタ―制作		3Dでキャラクタ	3Dでキャラクターのベースとなる素体を制作及び個別指導					
	2	「VRoid」3Dアバタ―制作		3Dでキャラクターを制作及び個別指導(キャラクターの顔、表情を制作)						
	3	「VRoid」3Dアバタ―制作		3Dでキャラクター	-を制作及び個別	川指導(キャラクタ・	一の髪型をデザイ	ー (ン、制作する)		
	4	「VRoid」3Dアバタ―制作		3Dでキャラクター	を制作及び個別打	指導(キャラクター(の服装を制作する	。3週連続課題)		
	5	「VRoid」3Dアバター制作		3Dでキャラクター	を制作及び個別打	指導(キャラクターの	の服装を制作する	。3週連続課題)		
	6	「VRoid」3Dアバター制作		3Dでキャラクター	を制作及び個別打	指導(キャラクター(の服装を制作する	。3週連続課題)		
授	7	3Dモデルデッサン		制作した3Dモ	デルのキャラク	フターにポーズ	をとらせ絵を描	く(正面向き)		
業計	8	3Dモデルデッサン		制作した3Dモ	デルのキャラク	フターにポーズ	をとらせ絵を描	く(アオリ)		
画	9	3Dモデルデッサン		制作した3Dモ	デルのキャラ・		をとらせ絵を描	iく(フカン)		
後期	10	3Dモデルデッサン		制作した3Dモデ	ルのキャラクタ	ーにポーズをとら	っせ絵を描く(アク			
	11	3Dモデルデッサン		制作した3Dモデノ	レのキャラクター	こポーズをとらせ糸	会を描く(日常風景			
	12	3Dモデルデッサン		制作した3Dモデルのキー	ャラクターにポーズをと	らせ絵を描く(自身のキャ	ラクターの世界観にあっ	たポージングで描く)		
	13	まとめ		学習した内容の	の確認、まとめ)				
	14	発表		完成作品の発	表、確認					
	15	期末試験フィードバック								
	16	期末試験フィードバック								
履修上	上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施									

	科目	1名	アナログイラ	ラスト実習 I		指導担	.当者名	山田	直美		
	実務	経験						実務経験:			
	開講	時期	通年 前期・後期	胡	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科 1年		
	授業	方法	講義:	演	習:	実習	3 :O	実	技:		
	時間	間数	84時間		週時間数 3時間						
5	学習到	達目標	・コミックイラスト表現に使用で・各種画材の特徴と自分にあ・各種画材の特徴を活かして	った表現の特	徴を理解し選び	が別けて使用で	ぎるようになる	こと			
		方法基準	数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点	試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点え、100点満点で評価している。 会は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上している。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 面は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。							
	使用	教材	コピック、水彩色鉛筆、コット	マンハーフパン	/他						
	授業を	小学習 方法	提出課題の制作								
	学期	ターム	項目			内]容·準備資料	等			
		1	オリエンテーション		授業説明、準	備物確認					
		2	画力確認		iPadの起動確	認					
		3	コピック基礎		メディバンペイ	ントのインスト	ール、立ち上け	:			
		4	連携企業授業		操作説明と実	践					
		5	連携企業授業		線画抽出						
6 コピック作品制作 抽出した線画に着彩											
	授	7	水彩色鉛筆		オリジナル線画	画					
	業計	8	水彩色鉛筆		線画着彩						
	画	9	作品制作①	温制作① 機能、ブラシ説明、ダウンロード							
	前 期	10	作品制作②		保存方法、形	式説明					

前期末課題発表

プリントアウトの手順説明

前期末課題制作、提出

履修上の留意点

期末課題制作

期末課題制作

期末課題制作

期末試験フィードバック

期末試験フィードバック

課題回収

11

12

14

15

16

科目	目名	アナログイラ	スト実習 I		指導担	当者名	山田	直美		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	通年 前期・後期	月	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科	1年	
授業	方法	講義:	演	習: 3	実習	∄ ∶O	実	技:		
時間	『数	84時間		週時間数		3時	間			
学習到	達目標	デジタルペイントソフトの技術 使い方から応用を学習し、制		ていく						
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況など数配分し、100点満点で評価している。期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価る。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 使用教材 iPad、アップルペンシル								以上		
使用教材 iPad、アップルペンシル										
	1学習 5法	提出課題の制作								
学期	ターム	項目		内容•準備資料等						
	1	背景の描き方の復習		透視図の復習	。各種比較と過	量い. 注意点				
	2	デジタルイラストの背景		背景に使える						
	3	デジタルイラストの背景		背景に使えるテクスチャ制作 作品制作						
	4	イラスト制作①		透視図を用いて、実在する建物と人物のイラスト制作						
	5	イラスト制作①		透視図を用い	て、実在する建	建物と人物のイ	ラスト制作 添	削		
	6	イラスト制作①		透視図を用い	て、実在する建	≧物と人物のイ·	ラスト制作 完成	戓		
授 業	7	イラスト制作②		透視図を用い	て、想像上の属	虱景のカラーイ	ラスト制作			
計	8	イラスト制作②		透視図を用い	て、想像上の風	虱景のカラーイ [・]	ラスト制作 添	削		
画	9	イラスト制作②		透視図を用い	て、想像上の風	虱景のカラーイ [・]	ラスト制作 完			
後 期	10	イラスト制作②		世界観がわか	る背景を描いる	た小説の挿絵制	制作			
	11	期末課題制作		世界観がわか	る背景を描いる	た小説の挿絵制	制作			
	12	期末課題制作		世界観がわか	る背景を描いる	た小説の挿絵制	制作			
	13	課題確認		期末課題発表						
	14	発表		期末課題発表						
	15	振り返り		期末課題展示						
	16	期末試験フィードバック								
履修上	Minimus Mi									

科目	名	デジタルイラ	ラスト実習 I		指導担	当者名	丸子	遥華	
実務	経験	広告代	理店、デザイン	ン制作業務に3年	年従事		実務経験:	有	
開講	時期	通年 前期・後期	Я	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科 1年	
授業	方法	講義:	演習	習:	実習	3 :O	実	技:	
時間	罰数	84時間		週時間数		3時	間		
学習到	達目標	デジタルペイントソフトの技術 使い方から応用を学習し、制		ていく					
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などで数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%にを要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価る。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。								席率80%以上	
使用	教材	iPad、アップルペンシル	nd、アップルペンシル						
授業を		提出課題の制作	出課題の制作						
学期	ターム	項目			内]容•準備資料	等		
	1	オリエンテーション		授業説明、準備	備物確認				
	2	アプリの起動	-	iPadの起動確認	認				
	3	操作方法		メディバンペイ	ントのインスト・	ール、立ち上け	ž		
	4	操作方法		操作説明と実践	践				
	5	実践		線画抽出					
	6	実践		抽出した線画に	こ着彩				
授	7	実践		オリジナル線画	<u> </u>				
業計	8	実践		線画着彩					
画	9	 実践		機能、ブラシ説	:明、ダウンロ-	- ド			
前 期	10	 実践		保存方法、形式	式説明				
	11	実践		プリントアウトの	の手順説明				
	12	実践	-	前期末課題発	表				
	13	実践		前期末課題制	作、提出				
	14	作品添削、振り返り							
	15	期末試験フィードバック							
	16	期末試験フィードバック							
履修上(【 「 が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は 遠隔授業+。		ー 資格を与えなし	`				

科目	1名	デジタルイラ	スト実習 [指導担	当者名	丸子	遥華		
実務	経験	広告代	理店、デザイン	ン制作業務に3:	年従事		実務経験:	有		
開講	時期	通年 前期・後期	月	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科	1年	
授業	方法	講義:	演習	習:	実習	i:O	実	支:		
時間	『数	84時間		週時間数		3時	間			
学習到	達目標	デジタルペイントソフトの技術 使い方から応用を学習し、制		ていく						
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況数配分し、100点満点で評価している。期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席型を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段間る。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 使用教材 iPad、アップルペンシル 授業外学習の方法							席率80%	以上		
使用教材 iPad、アップルペンシル										
	授業外学習 の方法 提出課題の制作									
学期	ターム	項目		内容·準備資料等						
	1	背景の描き方の復習		透視図の復習	。各種比較と遠	望い、注意点				
	2	デジタルイラストの背景		背景に使える	デジタルテクス	チャ紹介				
便用教授	3	デジタルイラストの背景		背景に使える	テクスチャ制作	作品制作				
	4	イラスト制作①		透視図を用い	て、実在する建	物と人物のイ	ラスト制作			
	5	イラスト制作①		透視図を用い	て、実在する建	物と人物のイ	ラスト制作 添良	—————————————————————————————————————		
	6	イラスト制作①		透視図を用い	て、実在する建	物と人物のイ	ラスト制作 完成	 式		
授	7	イラスト制作②		透視図を用い	て、想像上の属	乳景のカラーイ	ラスト制作			
計	8	イラスト制作②		透視図を用い	て、想像上の属	乳景のカラーイ	ラスト制作 添	————— 削		
画	9	イラスト制作②		透視図を用い	て、想像上の属	スティア スティス スティア スティア スティア スティア スティア スティア	ラスト制作 完	 或		
後 期	10	イラスト制作②		世界観がわか	る背景を描いた	た小説の挿絵	 制作			
	11	期末課題制作		世界観がわか	る背景を描いた	た小説の挿絵	制作			
	12	期末課題制作		世界観がわか	る背景を描いた	た小説の挿絵	制作			
	13	課題確認		期末課題発表						
	14	発表		期末課題発表						
	15	振り返り		期末課題展示						
	16	期末試験フィードバック								
履修上(16 州木試験フィートハック									

科目	目名 色彩概論 I			指導担	当者名	志村	早織		
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	通年 前期・後期	胡	対象学	科学年	グラフィックナゼイン科、グラフィックナザインマスター	科、マンガクリエ・作科、コミック・イラスト科、コミックマスター科	、動画・映像クリエイト科、YouTuberクリエイト科 選択者	
授業	方法	講義:○	演	習:	実	띨:	実	技:	
時間	引数	56時間		週時間数		2₿	寺間		
学習到	達目標	色彩検定3級合格を目指す							
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などで数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%」を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価る。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。								席率80%以上	
使用	教材	彩概論テキスト							
授業外学習 の方法 各授業実施前後の予習と復習の徹底をする									
学期	ターム	項目	項 目 内容・準備資料等						
字期	1	オリエンテーション		授業趣旨説明	、簡単な実習				
	2	確認テスト色番号		教科書、問題第	集PCCS				
	3	確認テスト色のはたらきにつ	いて	教科書、問題第	集色のはたらき	、色とイメージ	;		
	4	確認テスト光と色		教科書、問題第	集色はなぜ見え	こるのか、目の	しくみ		
	5	確認テスト混色		教科書、問題第	集照明と色の見	見え方、加法混	色、減法混色		
	6	確認テスト色の分類と三属性	1	教科書、問題第	集色の三属性、	等色相面			
授 業	7	確認テストPCCS色相		教科書、問題	集色相、明度、	彩度、トーンの)イメージ		
計	8	確認テストトーン記号		教科書、問題	集色相とトーン	による色の表	示方法		
画	9	確認テスト慣用色名①		教科書、問題	集慣用句名、暖	色と寒色			
前 期	10	確認テスト色彩心理		教科書、問題	集進出色と後退	色、膨張色と	収縮色		
	11	確認テスト色対比と錯視		教科書、問題(色対比、同化効	」果、色陰現象	、色の錯視		
	12	確認テスト色彩調和		教科書、問題	集配色、色相が	ら配色を考え	.る		
	13	確認テスト色彩効果		教科書、問題	集配色技法、色	彩と構成			
	14	レポート作成		まとめ					
	15	期末試験フィードバック							
	16	期末試験フィードバック							
履修上(

科目	名	色彩相	E論 I		指導担	当者名	志村	早織		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	通年 前期・後期	Я	対象学	科学年	グラフィックデザイン科、グラフィックデザインマスター	- 株、マンガクリエ-作・株、コミック・ウスト株、コミックマスター株。	、動画・映像クリエイト科、YouTuberクリエイト科 選択者		
授業	方法	講義:○	演習	習:	実習	3 :	実	技:		
時間	間数	56時間		週時間数		28	時間			
学習到	達目標	色彩検定3級合格を目指す								
評価評価		学期末試験の実施及び実習 数配分し、100点満点で評価(期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験に 成績評価は、A(80点~100点 る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と ∶優)、B(70点~	/テーションによ :認められる場€ ~79点:良)、C(って行われ、受 合には追試験を 60点~69点:つ	を験資格として 主実施する。 J)、D(0点~59	授業実施の出9点:不可)、の4	席率80%以上		
使用	教材	色彩概論テキスト								
授業を		各授業実施前後の予習と復	習の徹底をする	5						
学期	ターム	項目		内容・準備資料等						
	1	確認テスト授業説明		教科書、問題集						
	2	確認テスト色彩と生活		教科書、問題集生活環境と色彩、生活環境とカラーコーディネーション						
	3	確認テストファッションと色彩		教科書、問題集 ファッションとは、	ファッションコー	ディネートにお	ける色彩、基本的	りなカラーコー		
	4	確認テストインテリアと色彩		教科書、問題集 インテリアとは、						
	5	確認テストインテリアのカラーコー		教科書、問題集 インテリアのカラ	ーコーディネーシ	ション、インテリ	アにおける色の心	心理的効果		
	6	確認テストコーポレートカラー		教科書、問題集			、コーポレートカ			
授	7	確認テスト慣用色名②		教科書、問題第				· <u>*</u>		
業計	8	確認テスト過去問題		2017夏解答と角	————— 解説					
画	9	確認テスト過去問題		2017冬解答と角	————— 解説					
後 期	10	確認テスト過去問題		2018夏解答と角	————— 解説					
	11	確認テスト過去問題		2018冬解答と角	解説					
	12	確認テスト過去問題		2019夏解答と角	————— 解説					
	13	色彩検定2級についての説明	1	次年度概要説	———— 明					
	14	レポート作成		まとめ						
	15	期末試験フィードバック								
	16	期末試験フィードバック								
履修上(え が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は、遠隔授業も		 資格を与えなし	١					

科目	1名	色彩柿	死論 Ⅱ		指導担	当者名	大坂	美智子	
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	通年 前期・後期・	月	対象学	科学年	グラフィックナザイン科、グラフィックナザインマスタード	は、マンガクリエイト科、コミックイラスト科、コミックマスター科	、動画・映像クリエイト科、YouTuberクリエイト科 選択者	
授業	方法	講義:〇	演習	習:	実習	물:	実	技:	
時間	引数	56時間		週時間数	1	2時	持間		
学習到	達目標	色彩検定2級合格のための与テキスト、問題集、過去の検知 知識を身に付けていく。前期 らしてサポート合格を目指して	定試験などで学 1回・後期1回	ዸ፞፞፞፞፞ቔを進める。フ アンケート実施	カラーカードを依 し。疑問質問に	€用した実技を :答える時間を	取り入れて、西 つくり受験に対	記色に関する する不安を減	
評価評価		数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点	日末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点別分し、100点満点で評価している。 「試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上作としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 「評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とすA、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 テキスト、3級テキスト、問題集、カラーカード等						
使用	教材	2級テキスト、3級テキスト、同	引題集、カラー カ	カード等					
授業を	卜学習 5法	授業内容の予習、復習							
学期	ターム	項目			内	容∙準備資料	等		
	1	オリエンテーション		授業趣旨説明	、学習方法確認		J・色彩動画観	賞・次回準備	
	2	確認テスト配色イメージ・色彩	調和生活と色	教科書、問題第	- 集、豆テスト・トー	- -ン別色相環制	作・配色イメー	-ジと色彩調和	
	3	確認テスト配色イメージ・色彩	調和生活と色	教科書、問題第	- 集・豆テスト・色	彩調和			
	4	確認テスト色彩調和・色のUE)光と色	教科書、問題第	集・豆テスト・色	彩調和と色の	UD		
	5	確認テスト色のUD・光と色		教科書、問題第	集・豆テスト・色	のUDと光と色	,		
	6	確認テスト光と色・マンセル表	長色系	教科書、問題第	集・豆テスト・光	と色とマンセル	レ表色系		
授 業	7	確認テストマンセル・色彩心理	里・ビジュアル	教科書、問題領	集・豆テスト・マ	ンセル表色系	と色彩心理とヒ	ジュアル	
計	8	確認テストビジュアル・ファッ	ション	教科書、問題集・豆	[テスト・ビジュアルと	 :ファッション・テキス	ト前半部確認テスト		
画	9	テキスト確認テストファッション	ノ・インテリア	・テキスト前半部確認	恩テスト実施・教科書、	問題集ファッションと	ヒインテリア・期末テス	ベトインフォメーション	
前 期	10	確認テスト・インテリア・景観		教科書、問題第	集 インテリア・	景観色彩			
	11	確認テスト景観		教科書、問題第	集景観色彩				
	12	テキストまとめ		・テキストまとな	か・アンケート実	施・夏休み中	の宿題インフォ	⊢メーション	
	13	前期期末試験		期末試験・イン	ノフォメーション。	とアンケート実	施		
	14	前期振り返り							
	15	期末試験フィードバック							
	16	期末試験フィードバック							
履修上(【 が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は 遠隔授業4.		資格を与えなし	,1				

科目	3名	色彩柑	既論 Ⅱ		指導担	当者名	大坂	美智子	
実務	科目名 色彩概論Ⅱ 器務経験 調講時期 通年 前期・後期				実務経験:				
開講	時期	通年 前期・後期	明	対象学	科学年	グラフィックデザイン科、グラフィックデザインマスタード	s、マンガクリエイト科、コミック・クラスト科、コミックマスター科、	動画・味像クリエイト科、YouTuberクリエイト科 選択者	
授業	方法	講義:○	演	習:	 実 ⁻	習:	実	技:	
時間	『数	56時間		週時間数		2時	持間		
学習到	法口插	色彩検定2級合格のためのヴァキスト、問題集、過去の検り知識を身に付けていく。前期らしてサポート合格を目指して	定試験などで学 1回・後期1回	試験などで学習を進める。カラーカードを使用した実技を取り入れて、配色に 回・後期1回アンケート実施し。疑問質問に答える時間をつくり受験に対する不 いく。 に果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況な ている。 に験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80					
評価	方法 基準	数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点	験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とすB、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 キスト、3級テキスト、問題集、カラーカード等						
使用	教材	2級テキスト、3級テキスト、ほ	件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階部、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 テキスト、3級テキスト、問題集、カラーカード等 内容の予習、復習 内容・準備資料等						
授業を		授業内容の予習、復習	は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位をスト、3級テキスト、問題集、カラーカード等 の予習、復習 「項目 「内容・準備資・アキスト振り返り ・夏休み課題提出日・教科書、問題集・過去問各章テスト実施 ・教科書、問題集・過去問各章テスト実施						
学期	ターム	項目			内]容·準備資料	等		
	1	宿題回収・テキスト振り返り		・夏休み課題!	是出日•教科書	、問題集・過去	問各章ごと実	施と振り返り	
	2	各章の過去問実施		教科書、問題集・過去問各章テスト実施と振り返り					
	3	各章の過去問実施		教科書、問題第	集•過去問各章	҈テスト・実施と	振り返り		
	4	各章の過去問実施		教科書、問題集過	・	施・進捗確認アン	ケート実施・次回イ	′ンフォメーション	
	5	確認テスト過去問題		過去問実施(7	/0分)•試験対	策勉強方法ポ	イント解説とテ	キスト振り返り	
	6	確認テスト過去問題		過去問実施(7		策ポイント解説	えとテキスト振り	返り	
授 業	7	確認テスト過去問題		過去問実施(7		ー 策ポイント解説	だとテキスト振り	 返り	
計	8	確認テスト過去問題		2017夏解答と	 解説				
画	9	確認テスト過去問題		2017冬解答と	 解説				
後 期	10	確認テスト過去問題		2018夏解答と	 解説				
	11	確認テスト過去問題		2018冬解答と	 解説				
	12	確認テスト過去問題		2019夏解答と	 解説				
	13	後期期末試験		期末試験・イン	 ⁄フォメーション	とアンケート実	施		
	14	後期振り返り							
	15	期末試験フィードバック							
	16	期末試験フィードバック							
履修上(が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は 遠隔授業+。		資格を与えない	۸,				

科目	1名	作品制作	作演習 I		指導担	当者名	山田	直美		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	通年 前期・後期・	胡	対象学	科学年	コミックイラスト	〜、コミックマスタ	一科	希望者	
授業	方法	講義:	演習	i:O	実	習:	実技	支:		
時間	引数	56時間		週時間数		2時	間			
学習到	達目標	各自の設定した目標に合わっ制作スケジュールを管理する		作成、添削						
		を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点	している。 試験、プレゼン の結果、必要と i∶優)、B(70点・	√テーションによ :認められる場∵ ~79点:良)、C	:って行われ、引 合には追試験? (60点~69点:『	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	授業実施の出 点:不可)、の4	席率80	0%以上	
使用	教材	各自制作内容に合わせて準	備							
	評価方法 期末試験は実技試験や筆記試験、プレを要件としている。期末試験の結果、必成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70る。A、B、Cの評価は合格として単位を使用教材 各自制作内容に合わせて準備 受業外学習 の方法 授業内容の予習、復習									
学期	ターム	項目			内	容•準備資料	等			
	1	自己紹介、授業内容説明		自己紹介、授	業内容説明					
	2	企画書		企画の制作方	法					
	3	企画書		企画書制作	流行のテーマ	から選んで				
	4	企画書		個別添削						
	5	スケジュール計画		作品制作スケ	ジュールを立て	こ る				
	6	確認		企画書確認						
授	7	作品制作		作品制作、個別	引添削					
業計	8	作品制作		作品制作、個別	引添削					
画	9	作品制作		作品制作、個別	引添削					
前 期	10	 確認		制作進捗確認						
	11	作品制作		作品制作、個別	引添削					
	12	作品制作		作品制作、個別	引添削					
	13	確認		制作進捗確認						
	14	作品制作		前期目標スケ	 ジュールまでの	進捗確認				
	15	期末試験フィードバック								
	16	期末試験フィードバック								
作品制 ⁴	出席率:	が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は、遠隔授業も		資格を与えない	,					

科目	名	作品制作	F演習 I		指導担]当者名	山田	直美	
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	通年 前期・後期	Я	対象学	科学年	コミックイラスト	〜、コミックマスタ ・	一科	希望者
授業	方法	講義:	演習	1:0	実	習:	実技	支:	
時間	引数	56時間		週時間数		2時	持間		
学習到	達目標	各自の設定した目標に合わせ制作スケジュールを管理する		作成、添削					
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習数配分し、100点満点で評価期末試験は実技試験や筆記を要件としている。期末試験成績評価は、A(80点~100点る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と ∷優)、B(70点~	√テーションによ :認められる場↑ ~79点:良)、C(:って行われ、5 合には追試験? (60点~69点:ī	受験資格としてを 実施する。 可)、D(0点~59	授業実施の出席)点:不可)、の4月	苇率80	%以上
使用	教材	各自制作内容に合わせて準備	備						
授業を		授業内容の予習、復習							
学期	ターム	項目			内	P容·準備資料	等		
	1	オリエンテーション		企画書確認					
	2	作品制作		作品制作、個別	引添削				
	3	作品制作		作品制作、個別	引添削				
	4	作品制作		作品制作、個別	引添削				
	5	確認		制作進捗確認					
	6	プレゼン確認		企画書で作った	 たプレゼン形式	での確認			
授	7	作品制作		企業依頼を想	 定しての作品特	 制作			
業計	8	作品制作		企業依頼を想	 定しての作品	 制作			
画	9	作品制作		作品発表、添賞	—————————————————————————————————————				
後 期	10	作品制作		受験企業を想	 定した作品制作	 作			
	11	作品制作		受験企業を想	- 定した作品制作				
	12	作品制作		作品制作、個別	—————— 引添削				
	13	発表		作品発表確認					
	14	発表		作品発表確認					
	15	卒業制作		卒業制作、企画	—————— 画書制作				
	16	卒業制作		卒業制作、企画	—————— 画書制作				
履修上(点 記 が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は、遠隔授業も		 資格を与えなし	`				

4 3 F									
科目	目名	·	-概論			当者名	藤岡	可比努	
実務	経験	デザイン制	制作会社、デザ	イン制作業務	こ2年従事		実務経験:		有
開講	時期	通年 前期・後期・後期・後期・後期・後期・後期・後期	胡	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター	科 1年
	方法	講義∶○	演 [:]	習:	実	習:	実	支:	
時間	間数	28時間		週時間数		1時	間		
学習到	達目標	現代で人気の作品や分野を自身の制作に活かす	鑑賞・研究し、/	人気になる理由	ョを考える				
	方法基準	学期末試験の実施及び実習 数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点 る。A、B、Cの評価は合格と	している。 !試験、プレゼン の結果、必要と ₹:優)、B(70点・	νテーションによ :認められる場 ~79点∶良)、C	って行われ、 合には追試験: (60点~69点:ī	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	授業実施の出。)点:不可)、の4	席率80	%以上
使用	教材	Machintosh PC	shintosh PC 直作品の制作						
授業がのフ	小学習 方法	課題作品の制作							
学期	ターム	項目			Д	容・準備資料	等		
	1	オリエンテーション口		科目受講の注	意点の説明				
	2	作品から感じるもの1		前回の作家の作品を1つ持参	させる(ブリントアウトしたもの)	、全員が持ち寄った作品1つ1つ	Oを見て回り各作品から読み取	ったものを記述	する→提出
	3	作品から感じるもの2		前回の作品の特	持徴について分析	斤(テーマやテク:	ニックなど)レポー	-卜形式	→提出
		作品を読む		米山舞/イラス	トレーター最前	前線で活躍する	人物から魅力を	€分析	
	4								
	5	作品を読む		そゐち/学生時	特代から何を意	識してどう動い	ていたかを分れ	ff .	
	•	作品を読む					っていたかを分れ c人を挙げどこに魅力を感		研究する
授	5			ILLUSTRATIONに掲載さ	れているイラストレーター	-の作品を見て気になった		じたのかを	
業 計	5	作品を読む		ILLUSTRATIONに掲載さ	れているイラストレーター	-の作品を見て気になった -の作品を見て気になった	-人を挙げどこに魅力を感	じたのかを	研究する
業 計 画	5 6 7	作品を読む		ILLUSTRATIONに掲載さ ILLUSTRATIONに掲載さ パッと見て誰も	れているイラストレーター れているイラストレーター がわかる作風	-の作品を見て気になった -の作品を見て気になった の作家を挙げさ	- 人を挙げどこに魅力を感 - 人を挙げどこに魅力を感	じたのかを	^{研究する} の分析
業 計	5 6 7 8	作品を読む 作品を読む この人の絵はすぐわかる!		ILLUSTRATIONIに掲載さ ILLUSTRATIONIに掲載さ パッと見て誰も パッと見て誰も	れているイラストレータ- れているイラストレータ- がわかる作風 がわかる作風	-の作品を見て気になった -の作品を見て気になった の作家を挙げさ	こ人を挙げどこに魅力を感 こ人を挙げどこに魅力を感 でせる、特徴・画	じたのかを 材など(の分析の分析
業計画前	5 6 7 8	作品を読む 作品を読む この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる!		ILLUSTRATIONに掲載さ パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も	れているイラストレーター がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風	の作品を見て気になったの作品を見て気になったの作品を見て気になったの作家を挙げさの作家を挙げさ	- 人を挙げどこに魅力を想 - 人を挙げどこに魅力を想 ・ せる、特徴・画 ・ せる、特徴・画	じたのかを じたのかを 材など(材など(_{研究する} の分析 の分析 の分析
業計画前	5 6 7 8 9	作品を読む 作品を読む この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる!		ILLUSTRATIONに掲載さ パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も	れているイラストレーター がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風	の作品を見て気になったの作品を見て気になったの作家を挙げさの作家を挙げさの作家を挙げさの作家を挙げさ	LAを挙げどこに魅力を感 LAを挙げどこに魅力を感 でせる、特徴・画 でせる、特徴・画	じたのかを じたのかを 材など(材など(材など(の分析の分析の分析の分析の分析
業計画前	5 6 7 8 9 10	作品を読む 作品を読む この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる!		ILLUSTRATIONに掲載さ パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も	れているイラストレーター がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風	の作品を見て気になったの作品を見て気になったの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げる	A を	だたのかを けなど(材など) 材など(材など)	研究する の分析 の分析 の分析 の分析
業計画前	5 6 7 8 9 10 11	作品を読む 作品を読む この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる!		ILLUSTRATIONに掲載さ パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も	れているイラストレーター がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風	の作品を見て気になったの作品を見て気になったの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げる	LAを挙げどこに魅力を懸 はる、特徴・画 はる、特徴・画 はる、特徴・画 はる、特徴・画 はる、特徴・画 はる、特徴・画	だたのかを けなど(材など) 材など(材など)	研究する の分析 の分析 の分析 の分析
業計画前	5 6 7 8 9 10 11 12	作品を読む 作品を読む この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる!		ILLUSTRATIONIC掲載さ パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も	れているイラストレーター がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風	の作品を見て気になったの作品を見て気になったの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げる	LAを挙げどこに魅力を懸 はる、特徴・画 はる、特徴・画 はる、特徴・画 はる、特徴・画 はる、特徴・画 はる、特徴・画	だたのかを けなど(材など) 材など(材など)	研究する の分析 の分析 の分析 の分析
業計画前	5 6 7 8 9 10 11 12 13	作品を読む 作品を読む この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる! この人の絵はすぐわかる! コースのといるでもかった。		ILLUSTRATIONIC掲載さ パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も パッと見て誰も	れているイラストレーター がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風 がわかる作風	の作品を見て気になったの作品を見て気になったの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げるの作家を挙げる	LAを挙げどこに魅力を懸 はる、特徴・画 はる、特徴・画 はる、特徴・画 はる、特徴・画 はる、特徴・画 はる、特徴・画	だたのかを けなど(材など) 材など(材など)	研究する の分析 の分析 の分析 の分析

科目	目名	アート	·概論		指導担	3当者名	藤岡	阿比努	
実務	経験	デザイン制	川作会社、デザ	イン制作業務に	こ2年従事		実務経験:	有	
開講	時期	通年 前期・後期	月	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科	· 1年
授業	方法	講義:○	演	習:	実	習:	実	技:	
授業方法 時間数 学習到達目標 評価方法 評価基準	28時間		週時間数	<u> </u>	1時	持間			
学習到	達目標	現代で人気の作品や分野を負 自身の制作に活かす	濫賞・研究し、,	人気になる理由	3を考える				
		学期末試験の実施及び実習数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点 る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と ∷優)、B(70点~	/テーションによ :認められる場↑ ~79点:良)、C(つて行われ、 合には追試験: (60点~69点:ī	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	: 授業実施の出 9点:不可)、の4	席率80%	以上
使用	教材	Machintosh PC							
授業を	卜学習 5法	課題作品の制作							
学期	ターム	項目			Þ	內容·準備資料	等		
	1	作品から感じるもの1		望月けい/今流	た行りのイラス	トレーターから	魅力を分析		
	2	作品から感じるもの2		LAM/多色を使	用するイラス	トレーターからも	色使いを分析		
	3	作品から感じるもの3		火照ちげ/写真	ミと一体化した	:イラストから表:	現方法を分析		
	4	作品を読む		ILLUSTRATIONに掲載さ	れているイラストレーター	一の作品を見て気になった	こ人を挙げどこに魅力を恩	&じたのかを研?	究する
	5	作品を読む		ILLUSTRATIONに掲載さ	れているイラストレーター	一の作品を見て気になった	こ人を挙げどこに魅力を感		究する
	6	この人の絵はすぐわかる!		パッと見て誰も	がわかる作風	の作家を挙げさ	・せる、特徴・画	材などの	分析
授 業	7	この人の絵はすぐわかる!		パッと見て誰も	がわかる作風	の作家を挙げさ	・せる、特徴・画	材などの	分析
計	8	この人の絵はすぐわかる!		パッと見て誰も	がわかる作風	の作家を挙げさ	・せる、特徴・画	材などの	分析
画	9	この人の絵はすぐわかる!		パッと見て誰も	がわかる作風	の作家を挙げさ	・せる、特徴・画	材などの	分析
後 期	10	この人の絵はすぐわかる!		パッと見て誰も	がわかる作風	の作家を挙げさ	・せる、特徴・画	材などの	分析
	11	この人の絵はすぐわかる!		パッと見て誰も	がわかる作風	の作家を挙げさ	・せる、特徴・画	材などの	分析
	12	目を惹きつけるものとは		講義					
	13	期末試験フィードバック							
	14	期末試験フィードバック							
	15	期末試験フィードバック							
	16	期末試験フィードバック							
履修上(1 1 が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は 遠隔授業も		資格を与えなし	, ι				

科目	1名	コミュニケー	-ション演習		指導担当	者名	佐藤	美希子
実務	科目名 コミュニケーション演習 実務経験 前期 受業方法 講義: 演 時間数 28 時間 習到達目標 サーティファイ コミュニケーション検定初級の			<u>.</u>			実務経験:	
開講				対象学	科学年		全学科1年	
授業	方法	講義:	演習	1:0	実習	:	実	技:
時間	『数	28 時間		週時間数		1週/2	8時間	
学習到	達目標	サーティファイ コミュニケーショ	ン検定初級の取	得、ロールプレイ	ングを通してコミュ	ニケーション	力の向上を目指	す。
	方法 基準	筆記試験、出席率、模擬試験結 上記成績評価を100点満点で点						
使用	教材	コミュニケーション検定初級 テニ	キスト					
授業を	↑学習 5法	テキストを使用し、過去問題を回	答する					
学期	ターム	項目			内容	・準備資料	等	
	1	オリエンテーション		授業の目的、使	用教材についての	理解、授業の	進行について訪	的
	2	パート1 コミュニケーションセオ	リー(理論)	1-1コミュニケ-	ーションを考える、2	2-1目的に即	叩して聞く	
	3	パート1 コミュニケーションセオ	リー(理論)	2-2傾聴・質問	する			
	4	パート1 コミュニケーションセオ	リー(理論)	3-1目的を意識	はする			
	5	パート1 コミュニケーションセオ	リー(理論)	3-2話を組み立	こてる			
	6	パート1 コミュニケーションセオ	リー(理論)	3-3言葉を選び	「抜く			
授	7	パート1 コミュニケーションセオ	リー(理論)	3-4表現伝達す	ける			
業計	8	パート2 コミュニケーションプラク	フティス(実践)	1-1来客応対、	1-2電話応対			
画	9	パート2 コミュニケーションプラ:	フティス(実践)	1ー3アポイント	メント・訪問・挨拶、	1-4情報共	有の重要性	
前 期	10	パート2 コミュニケーションプラ:	フティス(実践)	1ー5チームコミ	ュニケーション			
	11	パート2 コミュニケーションプラク	フティス(実践)	2-1接客営業、	2-2クレーム対応	<u></u>		
	12	パート2 コミュニケーションプラ:	フティス(実践)	2-3会議・取材	・ヒアリング、2ー4	 l面接		
	13	検定対策		模擬試験				
	14	期末試験		検定本番				
	15	期末試験フィードバック						
	16	期末試験フィードバック						
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施								

科目名	修了制	制作 I		指導担	当者名	山田	直美
実務経験						実務経験:	
開講時期	後期		対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科 1年
授業方法	講義:	演 [:]	習:	実習	:O	実	技:
時間数	180時間		週時間数		6週/18	80時間	
学習到達目標	・学科で学んだ内容を活かしたイ・テーマを掲げ対象者を意識した・自らの作品をアピールするプレ	:作品制作	が出来る				
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習成100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試いる。期末試験は実技試験の結果、必要と記 成績評価は、A(80点~100点: 化の評価は合格として単位を認定	験、プレゼンテー 認められる場合! 憂)、B(70点~79	-ションによって行 こは追試験を実 点: 良)、C(60点・	テわれ、受験資格 施する。 ~69点:可)、D(0	Bとして授業実施 点~59点:不可	の出席率80%以	上を要件として
使用教材	それぞれの学科制作毎の規定に	こ沿った画材、教	対を使用する事	7			
授業外学習 の方法	制作にあたり、事前の企画・計画	画をそれぞれ複数	数の先生方と行し	ヽ、チェックをもら	う事		
学期ターム	項目			¢]容·準備資料	等	

0))	J /A		
学期	ターム (週)	項目	内容-準備資料等
	1	作品制作開始	事前に準備していた企画・計画に沿ってそれぞれ制作にあたる
	2	作品制作2	個別添削を行いながら制作を進めていく
	3	作品制作3	中間発表を行い、プレゼンテーション準備と展示企画についても
			可視化していく
	4	学科内プレゼンテーション	学科内でプレゼンテーションを実施
			学科担任、学科非常勤講師、学科内学生全てでプレゼンテーションを聞く
授 業			・制作のポイント ・展示計画 ・プレゼン能力 ・資料の見やすさ など
計画	5	発表を受けての修正と展示準備	各教室での展示計画と準備、
			また、プレゼンテーションで受けた指摘の修正と追加制作
後期	6	卒業・修了制作展	展示計画の基づき展示をし、外部の一般来場者を入れての作品発表を実施
			・学科内の作品の見どころの紹介 ・一般来場者の対応
			*学科内シフトにより登校
			展示終了後は撤収と作品保管をする

履修上の留意点

- の留息点 ・出席率が80%に満たない場合は、発表機会を与えない ・プレゼンテーションにて不合格だった場合、修正し、翌週期限を設け再プレゼンを実施 そこで一定の評価があれば合格とする

科目	目名	進路码	开究Ⅱ		指導担	当者名	就職担	当職員
実務	経験						実務経験:	
開講	時期	通年 前期・後期・後期・後期・後期・後期・後期・後期・	切	対象学	科学年		全学科2、3年	
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	習:	実	技:
時間	間数	28時間		週時間数		2₽	寺間	
学習到	達目標	就職活動指導 *学生の進路にあわせて柔 (プロ希望、業界志望、その付		ださい。				
	i方法 i基準	学期末試験の実施及び実習数配分し、100点満点で評価期末試験は実技試験や筆記を要件としている。期末試験成績評価は、A(80点~100点る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と i:優)、B(70点	ノテーションによ ≤認められる場 ~79点∶良)、C	つて行われ、 合には追試験 (60点~69点:	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~5	授業実施の出 9点:不可)、の4	席率80%以上
使用	教材	動画教材 SUCCESS						
	朴学習 方法	'教科書の復習。ニュースを見	la.					
学期	ターム	項目			Þ	容•準備資料	等	
	1	1年次の確認		履歴書、入退!	室の確認			
	2	受験後の報告		動画なし 受馴	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・]定後の生活、	不合格した場合	合の振り返り
	3	就職試験のマナー		5-1~5-2まで	面接、試験時(の確認		
1				D00~45 D04~				

学期	ターム	項目	内容-準備資料等
	1	1年次の確認	履歴書、入退室の確認
	2	受験後の報告	動画なし 受験後の報告と内定後の生活、不合格した場合の振り返り
	3	就職試験のマナー	5-1~5-2まで 面接、試験時の確認
	4	巻末資料確認	P39 [~] 45 P94 [~] ビジネス文章の書き方、メール
	5	履歴書確認 1	3-8 全体の書き方の見直し
	6	履歴書確認 2	3-4~3-6-2 自己PRの見直し
授 業	7	履歴書確認 3	3-7~3-8 志望動機の見直し
計画	8	履歴書確認 4	3-1~3-3,3-6~3-6-2 履歴書にふさわしい文章の書き方の見直し
	9	面接対策 1	4-1 [~] 4-5 面接での振る舞いについて
前期	10	面接対策 2	4-1~4-5 面接で緊張をした時の対策,緊張しないための対策
	11	面接対策 3	4-1 [~] 4-5 面接での話し方について
	12	個別指導	履歴書作成、個別指導
	13	個別指導	履歴書作成、個別指導
	14	期末試験	履歴書完成
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	

4 4 E		進路研	· σπ π		北海和	业业友	나 보다 나는	小麻台
-	目名 	连始切	「先 Ⅱ		指導担:	目白石		当職員 —————
	· A 	77	,	112.24	T.1 224 F-		実務経験:	
1713413	時期	通年 前期・後期		対象学			全学科2、3年	14
	方法	講義:〇	演 演	習:	実習		実:	技:
時間	間数	28時間		週時間数		28	寺間	
学習到	達目標	就職活動指導 *学生の進路にあわせて柔軟 (プロ希望、業界志望、その他		ださい。				
	方法基準	学期末試験の実施及び実習所数配分し、100点満点で評価が 数末試験は実技試験や筆記 まま試験はま技試験や筆記 を要件としている。期末試験の 成績評価は、A(80点~100点 る。A、B、Cの評価は合格とし	、ている。 試験、プレゼン D結果、必要と :優)、B(70点・	/テーションによ :認められる場↑ ~79点:良)、C(つて行われ、受合には追試験を 60点~69点:□	・ 験資格として ・実施する。 J)、D(0点~5	「授業実施の出 9点:不可)、の4	席率80%以上
使用	l教材	動画教材 SUCCESS						
	外学習 方法	教科書の復習。ニュースを見ん	る。					
学期	ターム	項目			内	容∙準備資料	等	
	1	受験後の報告		動画なし 受験	後の報告と内	定後の生活、	不合格した場合	るの振り返り
	2	就職試験のマナー		5-2~5-2(実践	編)面接、試験	時の確認		
				以前のテキス	トサクセス参照	P39~45 P94	4~	
	3	巻末資料確認				ーネット使用の		
		巻末資料確認 			メール、インタ	ーネット使用の		
				ビジネス文書、	メール、インタ の見直し	ーネット使用の		
	4 5	履歴書確認 1		ビジネス文書、全体の書き方	メール、インター の見直し [し	一ネット使用の		
授	4 5	履歴書確認 1 履歴書確認 2		ビジネス文書、 全体の書き方 自己PRの見直 志望動機の見	メール、インタ の見直し [し 直し			作文
業計	4 5 6 7	履歴書確認 1 履歴書確認 2 履歴書確認 3		ビジネス文書、 全体の書き方 自己PRの見直 志望動機の見 3-1~3-3,3-6~3	メール、インターの見直し 正し 直し -6-2,5-3 [~] 5-5	各種適性検1	の注意	
計画	4 5 6 7	履歴書確認 1 履歴書確認 2 履歴書確認 3 筆記試験対策 1		ビジネス文書、 全体の書き方 自己PRの見直 志望動機の見 3-1~3-3,3-6~3 3-1~3-3,3-6~3	メール、インタ の見直し [し 直し -6-2,5-3~5-5 -6-2,5-3~5-5	各種適性検3	の注意 査、一般常識、作	乍文
業計	4 5 6 7 8	履歴書確認 1 履歴書確認 2 履歴書確認 3 筆記試験対策 1 筆記試験対策 2		ビジネス文書、 全体の書き方 自己PRの見直 志望動機の見 3-1~3-3,3-6~3 3-1~3-3,3-6~3 3-1~3-3,3-6~3	メール、インタ の見直し [し 直し -6-2,5-3~5-5 -6-2,5-3~5-5	各種適性検3 各種適性検3 各種適性検3	か注意 査、一般常識、作 査、一般常識、作 査、一般常識、作	乍文
業計画後	4 5 6 7 8	履歴書確認 1 履歴書確認 2 履歴書確認 3 筆記試験対策 1 筆記試験対策 2 筆記試験対策 3		ビジネス文書、 全体の書き方 自己PRの見直 志望動機の見 3-1~3-3,3-6~3 3-1~3-3,3-6~3 3-1~3-3,3-6~3 動画なし 個人	メール、インタの見直し [し 直し -6-2,5-3~5-5 -6-2,5-3~5-5 -6-2,5-3~5-5	各種適性検f 各種適性検f 各種適性検f せて動画使用	か注意 査、一般常識、作 査、一般常識、作 査、一般常識、作	乍文
業計画後	4 5 6 7 8 9	履歴書確認 1 履歴書確認 2 履歴書確認 3 筆記試験対策 1 筆記試験対策 2 筆記試験対策 3 個別指導		ビジネス文書、 全体の書き方 自己PRの見直 志望動機の見 3-1~3-3,3-6~3 3-1~3-3,3-6~3 3-1~3-3,3-6~3 動画なし 個人 動画なし 個人	メール、インタの見直し にし 直し -6-2,5-3~5-5 -6-2,5-3~5-5 -6-2,5-3~5-5 、の状況に合わ	各種適性検え 各種適性検え 各種適性検え せて動画使用 せて動画使用	か注意 査、一般常識、f 査、一般常識、f 査、一般常識、f 目	乍文
業計画後	4 5 6 7 8 9 10	履歴書確認 1 履歴書確認 2 履歴書確認 3 筆記試験対策 1 筆記試験対策 2 筆記試験対策 3 個別指導		ビジネス文書、 全体の書き方 自己PRの見直 志望動機の見 3-1~3-3,3-6~3 3-1~3-3,3-6~3 3-1~3-3,3-6~3 動画なし 個人 動画なし 個人	メール、インタの見直し にし 直し -6-2,5-3~5-5 -6-2,5-3~5-5 -6-2,5-3~5-5 への状況に合わ	各種適性検f 各種適性検f 各種適性検f せて動画使f せて動画使f せて動画使f	か注意 査、一般常識、作 査、一般常識、作 査、一般常識、作 用 用	乍文
業計画後	4 5 6 7 8 9 10 11 12	履歴書確認 1 履歴書確認 2 履歴書確認 3 筆記試験対策 1 筆記試験対策 2 筆記試験対策 3 個別指導 個別指導		ビジネス文書、 全体の書き方 自己PRの見 志望動機の見 3-1~3-3,3-6~3 3-1~3-3,3-6~3 動画なし 個人 動画なし 個人 動画なし 個人	メール、インタの見直し にし 直し -6-2,5-3~5-5 -6-2,5-3~5-5 -6-2,5-3~5-5 の状況に合わ 、の状況に合わ	各種適性検f 各種適性検f 各種適性検f せて動画使f せて動画使f せて動画使f せて動画使f	か注意 査、一般常識、作 査、一般常識、作 査、一般常識、作 用 用	乍文
業計画後	4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	履歴書確認 1 履歴書確認 2 履歴書確認 3 筆記試験対策 1 筆記試験対策 2 筆記試験対策 3 個別指導 個別指導 個別指導		ビジネス文書、 全体の書き方 自己PRの見 志望動機の見 3-1~3-3,3-6~3 3-1~3-3,3-6~3 動画なし 個人 動画なし 個人 動画なし 個人	メール、インタの見直し にし 直し -6-2,5-3~5-5 -6-2,5-3~5-5 への状況に合わ 、の状況に合わ 、の状況に合わ 、の状況に合わ	各種適性検f 各種適性検f 各種適性検f せて動画使f せて動画使f せて動画使f せて動画使f	か注意 査、一般常識、作 査、一般常識、作 査、一般常識、作 用 用	乍文
業計画後	4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	履歴書確認 1 履歴書確認 2 履歴書確認 3 筆記試験対策 1 筆記試験対策 2 筆記試験対策 3 個別指導 個別指導 個別指導 個別指導 個別指導 期末試験		ビジネス文書、 全体の書き方 自己PRの見 志望動機の見 3-1~3-3,3-6~3 3-1~3-3,3-6~3 動画なし 個人 動画なし 個人 動画なし 個人	メール、インタの見直し にし 直し -6-2,5-3~5-5 -6-2,5-3~5-5 への状況に合わ 、の状況に合わ 、の状況に合わ 、の状況に合わ	各種適性検f 各種適性検f 各種適性検f せて動画使f せて動画使f せて動画使f せて動画使f	か注意 査、一般常識、作 査、一般常識、作 査、一般常識、作 用 用	乍文

335,447						tub:		
授業外学習 の方法	なし							
使用教材	なし							
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習数配分し、100点満点で評価期末試験は実技試験や筆記を要件としている。期末試験に成績評価は、A(80点~100点る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と ∴優)、B(70点・	ノテーションによ :認められる場 ~79点∶良)、C	って行われ、 合には追試験 (60点~69点:	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	授業実施の出)点:不可)、の4	席率80%以上	
学習到達目標	・様々な学科教員から、各分・前期では、目標達成ポイント ・後期では、目標達成ポイント	とする。	知識技術を学ん	S . °.				
時間数	56時間		週時間数	2時間		間	間	
授業方法	講義:〇	演 [:]	習:	実	習:	実技:		
開講時期	通年 前期・後期 対象		対象学	科学年		全学科2年		
実務経験					実務経験:			
科目名	クロスオーバーゼミⅡ			指導担当者名		志村、佐藤、渡邊		

学期	ターム	項目	内容·準備資料等
	1	オリエンテーションロ	科目受講の注意点の説明
	2	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	3	3 学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	4	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	5	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	6	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
授 業	7	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
計画	8	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	9	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
前 期	10	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		

科目名	クロスオーバーゼミⅡ			指導担当者名		志村、佐藤、渡邊		
実務経験						実務経験:		
開講時期	通年 前期・後期		対象学科学年		全学科2年			
授業方法	講義∶○	演	習:	実	習:	実	技:	
時間数	56時間	56時間 週時間数			2時間			
学習到達目標	・様々な学科教員から、各分・前期では、目標達成ポイン ・後期では、目標達成ポイン	トとする。	知識技術を学え	S.,				
評価方法 評価基準	学期末試験の実施及び実習 数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点 る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と i:優)、B(70点	/テーションによ :認められる場 ~79点∶良)、C	たって行われ、 合には追試験 (60点~69点:	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	授業実施の出 9点:不可)、の4	席率80%以上	
使用教材	なし							
授業外学習 の方法	なし							
33£ 44m	-= -			_	245 545 3AV shall	M4-		

学期	ターム	項目	内容·準備資料等
	1	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	2	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	3	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	4	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	5	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	6	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
授 業 計	7	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
計画	8	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
	9	学科基礎	各教員より基礎的な知識、技術レクチャー
後 期	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
尼收 L	16		

科	目名	クライアントワーク実習 II		指導担当者名		山田	直美			
実務	系経験						実務経験:			
開請	時期	通年 前期・後期	1	対象学	科学年 コミックイラス		ト科、コミックマ	スター科 2年		
授業方法 講義: 演習		習:	実習	実習:〇 実技:						
時	間数	84時間	週時間数	圆時間数 3時間						
学習至	 達目標	・産学連携の作品制作を行い ・コミュニケーション向上と地域								
	ī方法 ī基準	学期末試験の実施及び実習が 数配分し、100点満点で評価し期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験の 成績評価は、A(80点~100点 る。A、B、Cの評価は合格とし	している。 試験、プレゼン D結果、必要と :優)、B(70点・	·テーションによ ·認められる場· ∼79点∶良)、C	つて行われ、 合には追試験を 60点~69点:1	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	授業実施の出)点:不可)、の4	席率80%以上		
使用]教材	各自制作内容に合わせて準備								
	外学習 方法	課題作品の制作								
学期	ターム	項目			内]容•準備資料	等			
	1	オリエンテーション		自己紹介、授	業内容説明					
	2	レクチャー会		企画の制作方	法					
	3	レクチャー会		企画書制作	(流行のテーマ	マから選んで				
	4	イベント参加		個別添削						
	5	振り返り		作品制作スケ	ジュールを立て	こる				
	6	産学連携説明会		企画書確認						
授	7	コンセプト確認		作品制作、個別添削						
業計	8	作品制作		作品制作、個別添削						
画	9	オリエンテーション		作品制作、個別						
前期	10	イメージキャラクター制作制作		制作進捗確認						
	11	イメージキャラクター制作 作品制作、個別添削								
					2339///111					

制作進捗確認

前期目標スケジュールまでの進捗確認

作品制作

出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

イメージキャラクター制作

期末試験フィードバック

期末試験フィードバック

振り返り

14

15

科目	∃名	クライアントワ	7ーク実習 Ⅱ		指導担当者名 山田 直美				
実務	経験			実務経験:					
開講時期 通年 前期・後期		対象学	4科学年 コミックイラス		ト科、コミックマ	'スター科	2年		
授業方法 講義: 演習:		習:	実習:〇 実技:						
時間数 84時間		週時間数 3時間							
学習到	達目標	・産学連携の作品制作を行い、活動の発信を目的とする時間 ・コミュニケーション向上と地域貢献を目的とした校外イベントへの参加							
	方法基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とる。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。					以上		
使用教材 各自制作内容に合わせて準備									
授業外学習 の方法 課題作品の制作									
学期 ターム 項目		内容-準備資料等							
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等		
学期	ターム 1	項目 オリエンテーション		依頼企業来校					
学期						え、スケジュール			
学期	1	オリエンテーション		フォトスポット~	説明会(内容	え、スケジュール ンセプト確認)			
学期	1 2	オリエンテーション産学連携作品制作		フォトスポット・フォトスポット・	: 説明会(内容	・スケジュール ンセプト確認) J作)			
学期	1 2 3	オリエンテーション 産学連携作品制作 産学連携作品制作		フォトスポット・ フォトスポット・ フォトスポット・	: 説明会(内容 イラスト制作(コ イラスト制作(制	ド、スケジュール ンセプト確認) 作) 作)			
学期	1 2 3 4	オリエンテーション 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作		フォトスポット・フォトスポット・フォトスポット・	説明会(内容)イラスト制作(コイラスト制作(制イラスト制作(制イラスト制作(制イラスト制作(制イラスト制作(制	、スケジュール ンセプト確認) 作) 作) 作・完成)			
授	1 2 3 4 5	オリエンテーション 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作		フォトスポット・ フォトスポット・ フォトスポット・ フォトスポット・ 依頼企業来校	説明会(内容)イラスト制作(コイラスト制作(制イラスト制作(制イラスト制作(制イラスト制作(制イラスト制作(制度)イラスト制作(制度)	、スケジュール ンセプト確認) 作) 作) 作・完成)	~確認)	ニコンセプト 祈	在認)
授業計	1 2 3 4 5 6	オリエンテーション 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 アンレゼン		フォトスポット・ フォトスポット・ フォトスポット・ フォトスポット・ 依頼企業来校 国内のイラストイ	: 説明会(内容 イラスト制作(コ イラスト制作(制 イラスト制作(制 イラスト制作(制 ・ 作品プレゼン ベント参加に向けが	、スケジュール ンセプト確認) 作) 作) 作・完成)	ノ確認) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		在認)
授業計画	1 2 3 4 5 6 7	オリエンテーション 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 プレゼン		フォトスポット・ フォトスポット・ フォトスポット・ フォトスポット・ 依頼企業来校 国内のイラストイ・ 国内のイラスト	: 説明会(内容 イラスト制作(コ イラスト制作(制 イラスト制作(制 イラスト制作(制 イラスト制作(制 ベント参加に向け イベント参加に	に た に に に に に に に に に に に に に	ノ確認) 小申し込み、出店 引作(作品制作)	在記)
授業計	1 2 3 4 5 6 7 8	オリエンテーション 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 プレゼン イベント参加作品制作		フォトスポット・フォトスポット・フォトスポット・フォトスポット・依頼企業来校国内のイラストイ・国内のイラスト	: 説明会(内容) イラスト制作(知) イラスト制作(制) イラスト制作(制) イラスト制作(制) ・ 作品プレゼン ベント参加に向けが ・ イベント参加に	 スケジュールンセプト確認) 作) 作・完成) た作品制作(イベンこ向けた作品制 	小申し込み、出店 引作(作品制作 引作(作品制作)	在認)
授業計画 後	1 2 3 4 5 6 7 8 9	オリエンテーション 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 プレゼン イベント参加作品制作 イベント参加作品制作		フォトスポット・フォトスポット・フォトスポット・フォトスポット・依頼企業来校国内のイラストイ・国内のイラスト	: 説明会(内容) イラスト制作(知) イラスト制作(制) イラスト制作(制) イラスト制作(制) ・ 作品プレゼン ベント参加に向けが ・ イベント参加に	に、スケジュール ンセプト確認) 」作) 」作) 」作・完成) 、 た作品制作(イベン こ向けた作品制 こ向けた作品制 こ向けた作品制	小申し込み、出店 引作(作品制作 引作(作品制作)	在認)
授業計画 後	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	オリエンテーション 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 プレゼン イベント参加作品制作 イベント参加作品制作 イベント参加作品制作		フォトスポット・フォトスポット・フォトスポット・フォトスポット・ 依頼企業来校国内のイラストイ・国内のイラスト 国内のイラスト 県内企業のボ	: 説明会(内容) (ラスト制作(知) (ラスト制作(制) (ラスト制作(制) (ラスト制作(制) (ラスト制作(制) (マーストラントを) (マース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・ア	に、スケジュール ンセプト確認) 作) 作) 作・完成) に作品制作(イベン に向けた作品制 に向けた作品制 に向けた作品制 こ向けた作品制	小申し込み、出店 引作(作品制作 引作(作品制作)	在記)
授業計画 後	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	オリエンテーション 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 プレゼン イベント参加作品制作 イベント参加作品制作 イベント参加作品制作		フォトスポット・フォトスポット・フォトスポット・フォトスポット・ 依頼企業来校 国内のイラスト 国内のイラスト 国内のイラスト 東内企業のボ行事イラスト	説明会(内容イラスト制作(コイラスト制作(制イラスト制作(制イラスト制作(制イラスト制作(制イラスト制作(制イラスト制作(制・イベント参加に向けが、イベント参加に、イベント参加に、イベント参加に、イベント参加に、ファイベント参加にランティアイベ	に、スケジュール ンセプト確認) 作) 作) 作・完成) , た作品制作(イベン こ向けた作品制 こ向けた作品制 こ向けた作品制 ントへの参加	小申し込み、出店 引作(作品制作 引作(作品制作)	在記)
授業計画 後	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	オリエンテーション 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 産学連携作品制作 プレゼン イベント参加作品制作 イベント参加作品制作 イベント参加作品制作 イベント参加作品制作		フォトスポット・フォトスポット・フォトスポット・フォトスポット・ 依頼企業来校 国内のイラスト 国内のイラスト 国内のイラスト 東内企業のボ行事イラスト	説明会(内容) イラスト制作(制 イラスト制作(制 イラスト制作(制 イラスト制作(制 イラスト制作(制 ・ベント参加に ・イベント参加に ・イベント参加に ・イベント参加に ・カレンダー制作	に、スケジュール ンセプト確認) 作) 作) 作・完成) , た作品制作(イベン こ向けた作品制 こ向けた作品制 こした作品制 こした作品制 こした作品制 こした作品制 こしたにはいます。	小申し込み、出店 引作(作品制作 引作(作品制作)	在認)

16

履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

期末試験フィードバック 期末試験フィードバック

科目	1名	コミックイラ	スト実習 Ⅱ		指導担当者名 大坂 美智子			
実務	経験						実務経験:	
開講	時期	通年 前期・後期	Э	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科 2年
授業	方法	講義:	演	習:	実習	':O	実	技:
時間	引数	56時間		週時間数		2時	謂	
学習到	達目標	イラスト投稿雑誌「SSスモー	ルエス」、また「	季刊エス」へ打	と稿し、掲載を3	且い、自分自身	トを売り込んでし	. Υ.,
評価		学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 PC、iPad、スマートフォン						
使用	教材							
授業を		PC、iPad、スマートフォン 提出作品の制作						
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等	
	1	授業説明		説明				
	2	傾向対策		ss掲載作品の	分析			
	3	イラスト制作、個別指導		一人ずつ面談	を行い、各自 <i>0</i>	目標により、	イラストの傾向	を絞っていく
	4	イラスト制作①		ssテーマイラス	トの下書きチュ	ニック、制作及で	び投稿	
	5	傾向対策		ss掲載作品の	分析 自分の2	トリジナリティの)方向性を検討	ける
	6	イラスト制作②		キャラクターの	表情に特化し	たイラスト投稿	下書き	
授 業	7	イラスト制作②		制作及び投稿				
計	8	イラスト制作③		ss掲載作品の	分析 自身の約	会柄の分析		
画	9	イラスト制作③		キャラクターの	ポーズに特化	したイラスト投	稿 下書き	
前 期	10	イラスト制作④		ss掲載作品の	分析、掲載確訂	₹		
	11	イラスト制作④		作品制作、個別	引添削			
	12	期末考査フィードバック						-
	13	期末考査フィードバック						
	14	期末考査フィードバック						-
	15							
	16							
作品制作	出席率:	が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は、遠隔授業も		資格を与えない	`			

科目	3夕	コミックイラ	スト宝羽 Π	指導担当者名 大坂 美智子				主知 子
実務		17///			10-4-1	3 44	実務経験:	大百丁
開講			Я		科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	 スター科 2年
		講義:	··	1	<u>····</u> 実習		実	
時間	引数	56時間		週時間数		2時	計間	
学習到	達目標	イラスト投稿雑誌「SSスモー	ルエス」、また「	「季刊エス」へ打	设稿し、掲載を 犭	且い、自分自身	∤を売り込んでし	، ، ۲۰
評価		学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 PC、iPad、スマートフォン						
使用	教材	PC、iPad、スマートフォン						
授業がの力		提出作品の制作						
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等	
	1	授業説明		説明·季刊s掲	載作品の分析			
	2	個別確認		一人ずつ面談	を行い、各自の	目標により、	イラストの傾向	を絞っていく
	3	イラスト制作⑤		季刊s、ssテー	マイラストの下	書きチェック		
	4	イラスト制作⑤		制作及び投稿				
	5	確認		オリジナル表現	見の方向性の配	奎認		
	6	イラスト制作⑦		光の表現に特	化した作品制化	乍。 下書き		
授 業	7	イラスト制作⑦		光の表現に特	化した作品制作	乍。 個別添削		
計	8	イラスト制作⑧		季刊s、ssテー	マイラストの下	書きチェック		
画	9	イラスト制作⑧		季刊s、ssテー	マイラストの個	別添削		
後 期	10	イラスト制作⑧		季刊s、ssテー	マイラストの完	成、投稿確認		
	11	後期末考査		県内企業のボ	ランティアイベ	ントへの参加		
	12	期末考査フィードバック						
	13	期末試験フィードバック						
	14	期末試験フィードバック						
	15	期末試験フィードバック						
	16	期末試験フィードバック						
履修上(え が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は、遠隔授業も		資格を与えない	`			

科目	1名	DTP		指導担当者名 岡部 美保					
実務	経験	デザイン会社	:•広告代理店、	デザイン制作業剤	务に6年従事		実務経験:	有	
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科	2年
授業	方法	講義:	演	필:	実習	3 :	実持	支:	
時間	『数	112時間		週時間数		4時	間		
学習到	達目標	基礎的な描写力のいろいろな印。 までの工程を入稿用データ作品・ ロ			フォトショップデー	ータの作成方法、	レイアウトの基礎	楚も含めて	て印刷
評価評価	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成男 100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 いる。期末試験の結果、必要と認 成績評価は、A(80点~100点: 優 の評価は合格として単位を認定し	検、プレゼンテー 別められる場合に ♪)、B(70点~79)	・ションによって行 こは追試験を実が 点: 良)、C(60点~	われ、受験資格 重する。 -69点:可)、D(0	各として授業実施 1点~59点:不可	の出席率80%以	上を要件と	として
使用	教材	印刷の基礎テキスト Illustrator/ photo shop							
授業を	↑学習 5法	授業内容の予習、復習							
学期	ターム	項目			内]容·準備資料	等		
	1	DTPについて		課題内容と作品	課題サンプル参	験照/毎授業プロ	ジェクター使用		
	2	DTPでよく使うスキル復習		効率的なトレース	ス方法と画像切	り抜き			
	3	広告物のデザインを観察する		各種印刷物観察	『/DTPについて	5			
	4	印刷物の制作工程		DTPデザインテ	キスト/DTPでよ	く使うアプリ操作			
	5	DTPデザイン基礎		レイアウト基礎に	ついて資料参照	照解説			
	6	DTPデザイン基礎		レイアウト基礎に	ついて資料参	照解説			
授 業	7	Illustrator/Photoshop復習		美しい文字組み	、袋文字、Mapf	作成について			
計	8	課題1/DTPデザイン基礎		A4広告オリジナ	ルデザイン作成	/ファイル形式。	と管理について		
画	9	課題1/DTPデザイン基礎		A4広告オリジナ	ルデザイン作成	添削、出力/紙	の知識		
前 期	10	課題2/DTPデザイン		チラシデザイン作	作成/添削/出	力断裁/画像解	異像度と網点		
	11	課題2/DTPデザイン		チラシデザイン作	作成/出力断裁	/レイアウト校』	Eとデータチェック	7	
	12	復習		フライとチェックと	出力依頼書に	ついて/前期ま	とめ		
	13	期末試験フィードバック							
	14	期末試験フィードバック							
	15								
	16								
		80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない が困難な際は、遠隔授業も併用実施							

科目	1名	DTP:	実習		指導担	当者名	岡部	美保	
実務	経験	デザイン会社	- 広告代理店、	デザイン制作業別	努に6年従事		実務経験:	有	
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科 2年	
授業	方法	講義:	演習	習:	実習	: :	実持	支:	
時間	引数	112時間		週時間数		4時	間		
学習到	達目標	基礎的な描写力のいろいろな印までの工程を入稿用データ作品			フォトショップデー	ータの作成方法、	. レイアウトの基礎	楚も含めて印刷	
	方法 基準	いる。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A、B、C の評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。							
使用	教材	印刷の基礎テキスト Illustrator/	D基礎テキスト Illustrator/ photo shop						
授業タ のフ	↑学習 5法	授業内容の予習、復習							
学期	ターム	項目			内]容·準備資料	等		
	1	課題3/DTPデザイン		オリジナルパック	ァージデザインラ	ラフ作成/トラット	ピングの知識		
	2	課題3/DTPデザイン		オリジナルパック	ァージデザイン/	/添削/出力/	組み立て完成		
	3	課題3/DTPデザイン		オリジナルパック	ァージデザイン制	制作/添削/出:	カ/組み立て完成	戓	
	4	課題4/DTPデザイン		表裏ジャケットテ	゙ザイン制作、CI	D、DVD、ゲーム	ジャケット、雑誌フ	など/ラフ作成	
	5	課題4/DTPデザイン		表裏ジャケットテ	ザイン制作				
	6	課題4/DTPデザイン		表裏ジャケットテ	ザイン制作/済	&削/出力			
授 業	7	課題5/DTPデザイン		製本について/	並製本ページ物	の面付け折丁ス	方法、オリジナル・	作成	
計	8	課題5/DTPデザイン		並製本8~12ペ-	ージ作成				
画	9	課題5/DTPデザイン		並製本8~12ペー	ージ作成/添削				
後 期	10	課題5/DTPデザイン		並製本8~12ペー	ージ作成/添削	、出力中綴じ製	本完成提出		
	11	課題5/4版式について、まとめ		並製本8~12ページ	作成/添削、出力中	『綴じ製本完成提出》	/印刷現場を動画で!	見る/PDFの活用	
	12	データ提出		提出・フィードノ	バック				
	13	期末試験フィードバック							
	14	期末試験フィードバック							
	15								
	16								
履修上		え が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は、遠隔授業も		資格を与えない	`				

		マンガイラスト制作実習 指導担当者名 岡部 美保									
科目		マンガイラス	人制作実習 ————————————————————————————————————		指導担	当者名					
実務	経験	デザイン会社	t·広告代理店、·	デザイン制作業	务に6年従事		実務経験:	有			
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科 2年 			
授業	方法	講義:	演	習:	実習	7:0	実	支:			
時間	引数	56時間		週時間数		2時	間				
学習到	達目標	キャラクター、背景などの線画の モノクロイラストの基礎を学び、=)描画力向上 モノクロイラスト <i>の</i>	つさまざまな表現	方法を追求して	u<					
評価評価		100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 いる。期末試験の結果、必要と 成績評価は、A(80点~100点: {6	期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点数配分し、 0点満点で評価している。 末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件として る。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A、B、C 評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 記用具、原稿用紙、マルチライナー、つけぺん、インク、ホワイト、トーン								
使用	教材	筆記用具、原稿用紙、マルチラク	イナー、つけぺん	、インク、ホワイ	ト、トーン						
授業を	卜学習 5法	提出作品の制作									
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等				
	1	課題1		好きなマンガを	きなマンガを模写する						
	2	課題1		丸ペン Gペンで	線画練習/マノ	レチライナー等使	用				
	3	課題1・2		点の打ち方、集	中線の作成方法	人点描画作成					
	4	課題2		点描画作成							
	5	課題2		点描画作成							
	6	トーン・ベタ・ホワイト		貼り方/削り方	/きれいな仕上	げ方					
授	7	期末準備		課題内容説明	習得した技術を	すべて入れ、モ	ノクロイラストを付	 上上げる			
業計	8	課題3		下絵~線画							
画	9	課題3		原稿用紙 イラス	ストー枚(下書き	制作、チェック)					
前 期	10	課題3		原稿用紙 イラス	スト一枚(線画)						
	11	課題3		原稿用紙 イラス	ストー枚(ホワイ)	(-)					
	12	課題3		原稿用紙 イラス	ストー枚(トーン、	仕上げ)					
	13	課題3		原稿用紙 イラス	ストー枚(提出)						
	14	期末試験フィードバック									
	15										
	16										
履修上(の留意点		0/1-洪七七八根本(十 地士学校の巫院次枚もたらせ)、								

科目	1名	マンガイラス	ト制作実習		指導担	当者名	岡部	美保		
実務	経験	デザイン会社	t·広告代理店、·	デザイン制作業	務に6年従事		実務経験:		有	
開講	時期	通年 前期・後期	1	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター	·科	2年
授業	方法	講義:	演	習:	実習	i: O	実持	支:		
時間	引数	56時間		週時間数		2時	持間			
学習到	達目標	キャラクター、背景などの線画のモノクロイラストの基礎を学び、モ		つさまざまな表現	方法を追求して	. \<				
評価評価		100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 いる。期末試験の結果、必要と記 成績評価は、A(80点~100点: 優	期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点数配分し、 0点満点で評価している。 末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件として る。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A、B、C 評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 記用具、原稿用紙、マルチライナー、つけぺん、インク、ホワイト、トーン							
使用	教材	筆記用具、原稿用紙、マルチラク	(ナー、つけぺん	,、インク、ホワイ 	ト、トーン					
授業を		提出作品の制作								
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等			
	1	コマ割り		セリフとコマ割り	(コマ割りの説り	1)				
	2	コマ割り		セリフとコマ割り	(コマ割りの実践	€)				
	3	コマ割り		セリフとコマ割り	(セリフ入れ)					
	4	課題4		期末課題発表	習得した技術を	すべて入れ、モ	ノクロイラストを1月	つ仕上げ	げる	
	5	課題4		下絵~線画						
	6	課題4		原稿用紙 イラス	スト(下書き制作、	チェック)				
授	7	課題4		原稿用紙 イラス	スト(線画)					
業計	8	課題4		原稿用紙 イラス	スト(ホワイト)					
画	9	課題4		原稿用紙 イラス	スト(トーン、仕上	(げ)				
後期	10	課題4		原稿用紙 イラス	スト(提出)					
	11	課題4		期末課題制作(進捗確認)					
	12	課題4		期末課題制作(仕上げ)					
	13	期末試験フィードバック								
	14	期末試験フィードバック								
	15									
	16									
履修上(出席率	 が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は、遠隔授業も		資格を与えない	,\					

科目	1名	メディアリテラ	シー演習 I		指導担	当者名	丸子	遥華			
実務	経験	広告代	理店、デザイン	ン制作業務に3	年従事		実務経験:	有			
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科	2年		
授業	方法	講義:	演習	0:	実	習:	実	技:			
時間	間数	28 時間		週時間数		1日	持間				
学習到	達目標	情報モラルメディアに対する自己コントロー	期のポイント(以下の力を身に付ける)								
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成男100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試 いる。期末試験の結果、必要と認 成績評価は、A(80点~100点:優 の評価は合格として単位を認定!	検、プレゼンテー 図められる場合Ⅰ ☑)、B(70点~79	-ションによって行 こは追試験を実が 点: 良)、C(60点・	「われ、受験資格 もする。 ~69点:可)、D(0	各として授業実施 1点~59点:不可	の出席率80%以	上を要件と	して		
使用	教材	Machintosh PC、ノート、筆記用具	Į								
授業がのフ	小学習 方法	・メディアに触れること									
学期	ターム	項目			<u></u>	容・準備資料	———————————— 等				
	1	授業の説明		進め方、概要							
	2	メディアリテラシーを考える	ィアリテラシーを考えるメディアリテラシーの意味								
	_	Jニ ィマナ ケロ フ		ノディマの種類							

学期	ターム	項目	内容·準備資料等
	1	授業の説明	進め方、概要
	2	メディアリテラシーを考える	メディアリテラシーの意味
	3	メディアを知る	メディアの種類
	4	SNSを知る	SNSを使用する上での注意点
	5	SNSトラブル	SNSトラブルの対処法、ポイント
	6	ネット犯罪	加害者・被害者にならないために①
授 業	7	ネットストーカー	加害者・被害者にならないため②
計画	8	アンガーマネジメント	自己マインドのコントロールについて
	9	ネットニュース	ネットニュースの仕組み
前期	10	フェイクニュース	文章の編集、画像・動画の編集、切り取りについて
	11	ネット広告	ネット広告の仕組み
	12	期末試験準備	試験範囲発表
	13	前期期末試験	期末試験
	14	前期振り返り	前期振り返り
	15	期末試験フィードバック	
	16	期末試験フィードバック	

科	目名	メディアリテラシー		指導	担当者名	丸子			
実務	経験	広告代理点	ま、デザイン制作業	 務に3年従事		実務経験:	有		
開講	時期	通年 前期・後期	Ż	対象学科学年	コミックイラス	・ 、ト科、コミックマ	· スター科 2年		
授業	方法	講義:	演習:○	3	· 美習:	実	技:		
時	間数	28 時間	週時間	引数	1	時間			
学習到	達目標	後期のポイント(以下の力を身に付け・情報発信能力・インターネット操作活用能力	t3)						
	i方法 i基準	100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験、こいる。期末試験の結果、必要と認めら 成績評価は、A(80点~100点:優)、E	試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件として。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 「評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A、B、C 価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。						
使用	教材	Machintosh PC、ノート、筆記用具							
	朴学習 方法	・メディアに触れること							
学期	ターム	項目			内容・準備資料	等			
	1	SNSマーケティング	SNS-Z-	ケティングの説明					
	1 2	SNSマーケティング SNSマーケティング		ケティングの説明るための考察					
	-		バズらせ						
	2	SNSマーケティング	バズらせ記事を書	るための考察					
	2	SNSマーケティング 情報発信をしてみよう	バズらせ記事を書	るための考察 くコツと注意点 んで分析しよう					
	3	SNSマーケティング 情報発信をしてみよう 情報発信をしてみよう	バズらせ 記事を書 記事を読	るための考察 (くコツと注意点 んで分析しよう					
授業	2 3 4 5	SNSマーケティング 情報発信をしてみよう 情報発信をしてみよう SNSを分析してみよう	バズらせ 記事を書 記事を読 アカウンI	るための考察 くコツと注意点 んで分析しよう					
業計	2 3 4 5	SNSマーケティング 情報発信をしてみよう 情報発信をしてみよう SNSを分析してみよう	バズらせ 記事を書 記事を読 アカウンI インサイI マーケテ	るための考察 くコツと注意点 んで分析しよう					
計画	2 3 4 5 6 7	SNSマーケティング 情報発信をしてみよう 情報発信をしてみよう SNSを分析してみよう SNSを分析してみよう SNSを分析してみよう	バズらせ 記事を書 記事を読 アカウンI インサイI マーケテ	るための考察 くコツと注意点 んで分析しよう ト分析 ト イング 法法について					
業計	2 3 4 5 6 7 8	SNSマーケティング 情報発信をしてみよう 情報発信をしてみよう SNSを分析してみよう SNSを分析してみよう SNSを分析してみよう	バズらせ 記事を書 記事を読 アカウン! インサイ! マーケテ	るための考察 (くコツと注意点 んで分析しよう) ト分析 トイング (法法について)					
業計画後	2 3 4 5 6 7 8	SNSマーケティング 情報発信をしてみよう 情報発信をしてみよう SNSを分析してみよう SNSを分析してみよう SNSを分析してみよう JARO	バズらせ 記事を書 記事を読 アカウン! インサイ! マーケテ 景品表示 優良誤認	るための考察 (くコツと注意点 んで分析しよう) ト分析 トイング (法法について)					
業計画後	2 3 4 5 6 7 8 9	SNSマーケティング 情報発信をしてみよう 情報発信をしてみよう SNSを分析してみよう SNSを分析してみよう SNSを分析してみよう JARO JARO	バズらせ 記事を書 記事を読 アカウン! インサイ! マーケテ 景品表示 優良誤認 有利誤認	るための考察 くコツと注意点 んで分析しよう ト分析 ト イング 法法について					
業計画後	2 3 4 5 6 7 8 9 10	SNSマーケティング 情報発信をしてみよう 情報発信をしてみよう SNSを分析してみよう SNSを分析してみよう SNSを分析してみよう JARO JARO JARO	バズらせ 記事を書 記事を読 アカウン! インサイ! マーケテ 景品表示 優良誤認 有利誤認 薬機法	るための考察 (くコツと注意点 んで分析しよう ト分析 ・ イング 法について は は は は は は は は は は は は は					
業計画後	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	SNSマーケティング 情報発信をしてみよう 情報発信をしてみよう SNSを分析してみよう SNSを分析してみよう SNSを分析してみよう JARO JARO JARO JARO 期末試験準備	バズらせ 記事を書 記事を読 アカウン! インサイ! マーケテ 景品表示 優良誤認 有利誤認 薬機法 試験範囲	るための考察 (くコツと注意点 んで分析しよう ト分析 ・ イング 法について は は は は は は は は は は は は は					
業計画後	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	SNSマーケティング 情報発信をしてみよう 情報発信をしてみよう SNSを分析してみよう SNSを分析してみよう SNSを分析してみよう JARO JARO JARO JARO 期末試験準備 後期期末試験	バズらせ 記事を書 記事を読 アカウン! インサイ! マーケテ 景品表示 優良誤認 有利誤認 薬機法 試験範囲	るための考察 (くコツと注意点 んで分析しよう ト分析 ・ イング 法について は は は は は は は は は は は は は					

履修上の留意点

科目	目名	デジタルイラス	ト実習Ⅱ		指導担	当者名	丸子	遥華				
実務	経験	広告代理	店、デザイン	/制作業務に3:	年従事		実務経験:		有			
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター	·科 2 ^左	F		
授業	方法	講義:	演習	일 : 글 :	実習	: :	実	技:				
時間	間数	112時間		週時間数		4時	間					
学習到	達目標	・コミックイラスト表現に使用する・各種画材の特徴を活かした表・各種画材で自分の望む表現か	現が出来る。	ようになること	マスターする							
	方法 基準	数配分し、100点満点で評価して 期末試験は実技試験や筆記試 を要件としている。期末試験の紙 成績評価は、A(80点~100点: fl	期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点配分し、100点満点で評価している。 末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上 要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とす A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。									
使用	教材	コピック、水彩色鉛筆、コットマン	シハーフパン	他								
授業が	小学習 方法	提出課題の制作。										
学期	ターム	項目			内	容•準備資料						
7770												
7-741	1	授業説明、オリエンテーション		自己紹介·前期	朗、後期の大ま	かな授業内容	-	表など	•			
T 701		授業説明、オリエンテーション作品制作			期、後期の大ま D注意点・ポイン		-	表など				
7-701	1		;				-	表など	•	_		
7780	1 2	作品制作		線画を描く際の		ント	-	表など	•	_		
7700	1 2 3	作品制作		線画を描く際の	D注意点・ポイ: が が が が が の 自身のイラ	ント	-	表など		_		
7700	1 2 3 4	作品制作作品制作		線画を描く際の 色トレス 彩度のにした際 カラーパレット	D注意点・ポイ: が が が が が の 自身のイラ	ストの比較	-	表など	,			
授	1 2 3 4 5	作品制作 作品制作 作品制作 作品制作		線画を描く際の 色トレス 彩度のにした際 カラーパレット	D注意点・ポイン その自身のイラ の使用	ストの比較	-	表など				
授業計	1 2 3 4 5 6	作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作		線画を描く際の 色トレス 彩度Oにした際 カラーパレット 通常色選びと: 色のバランス	D注意点・ポイン その自身のイラ の使用	ストの比較の比較	-	表など				
授業計画	1 2 3 4 5 6 7	作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作		線画を描く際の 色トレス 彩度Oにした際 カラーパレット 通常色選びと: 色のバランス	D注意点・ポイ:	ストの比較の比較	-	表など				
授業計	1 2 3 4 5 6 7 8	作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作		線画を描く際の 色トレス 彩度Oにした際 カラーパレット 通常色選びと 色のバランス メリハリのある 一枚絵の制作	D注意点・ポイ:	ストの比較の比較の比較	-	表など				
授業計画 前	1 2 3 4 5 6 7 8 9	作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作		線画を描く際の 色トレス 彩度Oにした際 カラーパレット 通常色選びと 色のバランス メリハリのある 一枚絵の制作	D注意点・ポイン その自身のイラ の使用 カラーパレットの 色使い・色収え (下がき) (キャラクター	ストの比較の比較の比較	-	表など				
授業計画 前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作		線画を描く際の 色トレス 彩度Oにした際 カラーパレット 通常色選びとこ 色のバランス メリハリのある 一枚絵の制作 一枚絵の制作	D注意点・ポイン その自身のイラ の使用 カラーパレットの 色使い・色収え (下がき) (キャラクター	ント ストの比較 の比較 を	-	表など				
授業計画 前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作		線画を描く際の色トレス 彩度Oにした際カラーパレット 通常色選びとこ 色のバランス メリハリのある 一枚絵の制作 一枚絵の制作	D注意点・ポイン の自身のイラ の使用 カラーパレットの 色使い・色収差 (下がき) (キャラクター・ (背景制作) (一枚絵完成)	ント ストの比較 の比較 を	-	表など	7			
授業計画 前	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作 作品制作		線画を描く際の 色トレス 彩度Oにした際 カラーパレット 通常色選びとこ 色のバランス メリハリのある 一枚絵の制作 一枚絵の制作	D注意点・ポイン の自身のイラ の使用 カラーパレットの 色使い・色収差 (下がき) (キャラクター・ (背景制作) (一枚絵完成)	ント ストの比較 の比較 を	-	表など				

16

科	1名	デジタルイラ	5スト実習Ⅱ		指導担	当者名	丸子	遥華	:	
実務	経験	広告代	理店、デザイン	ノ制作業務に3:	年従事		実務経験:		有	
開講	時期	通年 前期・後期・	坍	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター	-科	2年
授業	方法	講義:	演 ⁱ	習:	実習	₹:○	実	技:		
時	間数	112時間		週時間数		4時	間			
学習到	達目標	デジタル描画ツールを絞らな 個別指導によりクオリティの「		ラスト全般におい	ける応用を使っ	たイラストの制	作時間			
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 PC・iPad								
使用	l教材	PC•iPad								
	朴学習 方法	デジタルイラストの制作、予習	3、復習。作品(のブラシュアッ	プ					
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等			
	1	授業説明、オリエンテーション	,	後期の大まか	な授業内容及	び目標の発表	など			
	2	作品制作		質感(小物)						
	3	作品制作		質感(服、人物	J)					
	4	作品制作		質感を意識した	たイラスト制作					
	5	作品制作		質感を意識した	たイラスト制作					
	6	作品制作		空気感(髪の)						
授	7	作品制作		空気感(手前に	こものを置く)					
業計	8	作品制作		テーマに合わ-	せたイラスト制	作(人物)				
画	9	作品制作		テーマに合わ-	せたイラスト制	作(一枚絵完成	ا گ			
後 期	10	作品制作		一枚絵の制作	(キャラクター・	デザイン)				
	11	作品制作		一枚絵の制作	(背景制作)					
	12	データ提出		提出・フィードル	バック					
	13	期末試験フィードバック		жш > 1 1 .	.,,,					
	14	期末試験フィードバック								
	15									
	16									
履修上		し 気 が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は、遠隔授業も		資格を与えない	,					

 科 E	1名	pixiv漠	 智 II	指導担当者名 山田 直美							
実務	経験						実務経験:				
開講	時期	通年 前期・後期	月	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科	2年		
授業	方法	講義:	演習]:O	実習	P .	実	支:			
時間	間数	84時間		週時間数		3時	間				
学習到	達目標	・クリエイターにかかわる最新 ・イラストコミュニケーションサ ピクシブ株式会社アサインの クリエイティブな環境について	ービス「pixiv」? クリエイターか	を運営している ら、現在の技術	げ・これから発展	していく					
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを数配分し、100点満点で評価している。 評価方法 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価。る。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。 使用教材 Machintosh PC、スマートフォン・iPad・アップルペンシル・ペンタブレット						以上					
使用	教材	Machintosh PC,・スマートフォ									
授業を	小学習 方法	pixiv sensei機能を使った復	習 								
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等				
	1	オリエンテーション		担当教員紹介	及び授業内容	確認					
	2	キャラクターデザイン①		創作キャラの簡	「潔な紹介、プロ	フィールの作成	 及び個別指導(2	2週連続談	課題)		
	3	キャラクターデザイン①		創作キャラの簡	「潔な紹介、プロ	フィールの作成	及び個別指導(2	2週連続談	課題)		
	4	キャラクターデザイン②		三面図を描く及	 及び個別指導(2	2週連続課題)					
	5	ナレニカカ ゴギ ハ・③			ザイン② 三面図を描く及び個別指導(2週連続課題)						
ŀ	1	キャラクターデザイン②		三面図を描く及	及び個別指導(2	2週連続課題)					
	6	キャラクターデザイン③			及び個別指導(2 く及び個別指導		<u>(</u>)				
授業	6 7			表情差分を描		〔2週連続課題					
業 計	_	キャラクターデザイン③		表情差分を描表情差分を描	く及び個別指導	〔(2週連続課是 〔(2週連続課是	()	週連続課	題)		
業 計 画	7	キャラクターデザイン③ キャラクターデザイン③		表情差分を描表情差分を描自分の創作キャ	く及び個別指導 く及び個別指導	(2週連続課題 (2週連続課題 を含めた)を描く	夏) 【及び個別指導(2				
業 計	7 8 9	キャラクターデザイン③ キャラクターデザイン③ イラスト制作		表情差分を描表情差分を描自分の創作キャ自分の創作キャ	く及び個別指導 く及び個別指導 ラの一枚絵(背景	(2週連続課是 (2週連続課是 を含めた)を描く を含めた)を描く	图) 及び個別指導(2 及び個別指導(2	週連続課			
業計画前	7 8 9	キャラクターデザイン③ キャラクターデザイン③ イラスト制作 イラスト制作		表情差分を描表情差分を描自分の創作キャ自分の創作キャ自分の絵を使	く及び個別指導 く及び個別指導 ラの一枚絵(背景 ラの一枚絵(背景	(2週連続課是 (2週連続課是 を含めた)を描く を含めた)を描く 制作する(Pixi	夏) 及び個別指導(2 及び個別指導(2 vFACTORY使月	週連続課用方法)	題)		
業計画前	7 8 9 10	キャラクターデザイン③ キャラクターデザイン③ イラスト制作 イラスト制作 pixivfactory制作		表情差分を描表情差分を描自分の創作キャ自分の創作キャ自分の絵を使自分の絵を使用	く及び個別指導 く及び個別指導 ラの一枚絵(背景 ラの一枚絵(背景 用したグッズを	(2週連続課是 (2週連続課是 を含めた)を描く を含めた)を描く を含めた)を描く 制作する(Pixi 作する及び個)	題) 及び個別指導(2 及び個別指導(2 vFACTORY使月 別指導(アイデア	週連続課 用方法) 7絵に起こ	題)		
業計画前	7 8 9 10	キャラクターデザイン③ キャラクターデザイン③ イラスト制作 イラスト制作 pixivfactory制作 pixivfactory制作		表情差分を描表情差分を描自分の創作キャ自分の総を使自分の絵を使用自分の絵を使用	く及び個別指導 く及び個別指導 ラの一枚絵(背景 ラの一枚絵(背景 用したグッズを 用したグッズを制	(2週連続課是 (2週連続課是 を含めた)を描く を含めた)を描く を含めた)を描く 制作する(Pixi 作する及び個)	題) 及び個別指導(2 及び個別指導(2 vFACTORY使月 別指導(アイデア	週連続課 用方法) 7絵に起こ	題)		
業計画前	7 8 9 10 11	キャラクターデザイン③ キャラクターデザイン③ イラスト制作 イラスト制作 pixivfactory制作 pixivfactory制作 pixivfactory制作		表情差分を描表情差分を描自分の創作キャ自分の総を使自分の絵を使用自分の絵を使用	く及び個別指導 く及び個別指導 ラの一枚絵(背景 ラの一枚絵(背景 用したグッズを制 用したグッズを制 用したグッズを制	(2週連続課是 (2週連続課是 を含めた)を描く を含めた)を描く を含めた)を描く 制作する(Pixi 作する及び個)	題) 及び個別指導(2 及び個別指導(2 vFACTORY使月 別指導(アイデア	週連続課 用方法) 7絵に起こ	題)		
業計画前	7 8 9 10 11 12	キャラクターデザイン③ キャラクターデザイン③ イラスト制作 イラスト制作 pixivfactory制作 pixivfactory制作 pixivfactory制作 まとめ		表情差分を描 表情差分を描 自分の創作キャ 自分の絵を使 自分の絵を使 自分の絵を使 学習した内容の	く及び個別指導 く及び個別指導 ラの一枚絵(背景 ラの一枚絵(背景 用したグッズを制 用したグッズを制 用したグッズを制	(2週連続課是 (2週連続課是 を含めた)を描く を含めた)を描く を含めた)を描く 制作する(Pixi 作する及び個)	題) 及び個別指導(2 及び個別指導(2 vFACTORY使月 別指導(アイデア	週連続課 用方法) 7絵に起こ	題)		
業計画前	7 8 9 10 11 12 13	キャラクターデザイン③ キャラクターデザイン③ イラスト制作 イラスト制作 pixivfactory制作 pixivfactory制作 pixivfactory制作 まとめ		表情差分を描 表情差分を描 自分の創作キャ 自分の絵を使 自分の絵を使 自分の絵を使 学習した内容の	く及び個別指導 く及び個別指導 ラの一枚絵(背景 ラの一枚絵(背景 用したグッズを制 用したグッズを制 用したグッズを制	(2週連続課是 (2週連続課是 を含めた)を描く を含めた)を描く を含めた)を描く 制作する(Pixi 作する及び個)	題) 及び個別指導(2 及び個別指導(2 vFACTORY使月 別指導(アイデア	週連続課 用方法) 7絵に起こ	題)		

対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施

科目	1名	Pixiv演	異習Ⅱ		指導担	.当者名	ЩЩ	直美		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	通年 前期・後期	胡	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター	-科	2年
授業	方法	講義:	演習	I:O	実	習:	実	技:		
時間	引数	84時間		週時間数		3時	間			
学習到	達目標	・クリエイターにかかわる最新 ・イラストコミュニケーションサ ピクシブ株式会社アサインの クリエイティブな環境について	ービス「pixiv」 クリエイターか	を運営している ら、現在の技術	げ・これから発 <i>見</i>	展していく				
評価評価	方法 基準	学期末試験の実施及び実習 数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験(成績評価は、A(80点~100点 る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と ∷優)、B(70点・	/テーションによ :認められる場 ~79点∶良)、C	って行われ、 合には追試験 (60点~69点:	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	授業実施の出	席率8	10%以	上
使用	E用教材 Machintosh PC,・スマートフォン・iPad・アッ			゚ルペンシル・^	ペンタブレット					
授業を		pixiv sensei機能を使った復	習							
学期	ターム	項目		内容·準備資料等						
	1	「VRoid」3Dアバター制作		3Dでキャラクターのベースとなる素体を制作及び個別指導						
	2	「VRoid」3Dアバター制作		3Dでキャラクタ	マーを制作及び	個別指導(キャ	ラクターの顔、	表情	を制作	作)
	3	「VRoid」3Dアバター制作		3Dでキャラクター	-を制作及び個別	指導(キャラクタ-	ーの髪型をデザイ	ン、制·	作する	る)
	4	「VRoid」3Dアバター制作		3Dでキャラクター	を制作及び個別打	旨導(キャラクター <i>0</i>	D服装を制作する。	, 3週連	続課	題)
	5	「VRoid」3Dアバター制作		3Dでキャラクター	を制作及び個別打	旨導(キャラクターの	D服装を制作する。	, 3週連	続課	題)
	6	「VRoid」3Dアバタ―制作		3Dでキャラクター	を制作及び個別打	旨導(キャラクターの	D服装を制作する。	。3週連	続課	題)
授	7	3Dモデルデッサン		制作した3Dモ	デルのキャラク	ワターにポーズを	とらせ絵を描	く(正正	面向を	き)
業計	8	3Dモデルデッサン		制作した3Dモ	デルのキャラク	ワターにポーズを	とらせ絵を描	く(アオ	ナリ)	
画	9	3Dモデルデッサン		制作した3Dモ	デルのキャラク	フターにポーズ	をとらせ絵を描	く(フナ	ラン)	
後 期	10	3Dモデルデッサン		制作した3Dモデ	・ルのキャラクター	ーにポーズをとら	せ絵を描く(アク	ション	ポース	ズ)
	11	3Dモデルデッサン		制作した3Dモデル	レのキャラクターに	こポーズをとらせ糸	会を描く(日常風景	例:歩	く、走	る)
	12	3Dモデルデッサン		制作した3Dモデルのキー	ャラクターにポーズをとら	っせ絵を描く(自身のキャ	ラクターの世界観にあった	ヒポージン	グで描	i 〈)
	13	まとめ		学習した内容	の確認、まとめ)				
	14	発表		完成作品の発	表、確認					
	15	期末試験フィードバック								
	16	期末試験フィードバック								
履修 ⊦	の留意点	<u> </u>								

			汉未司	一曲(フノ							
科目	目名	アナログイラス	へ は できませる		指導	担当者名	大坂	美智子			
実務	経験			1			実務経験:				
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	'スター科	2年		
授業	方法	講義:	演習	3 :0		実習:	実	技:			
時間	間数	84時間		週時間数		3₽	寺間				
学習到	達目標	・コミックイラスト表現に使用する各種画材の使用方法をマスターする ・各種画材の特徴を活かした表現が出来るようになること ・各種画材で自分の望む表現ができるようになること									
	ī方法 ī基準	学期末試験の実施及び実習成果の100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験いる。期末試験の結果、必要と認め成績評価は、A(80点~100点:優)、の評価は合格として単位を認定し、	-ションによって行 こは追試験を実が 点: 良)、C(60点~	われ、受験資 でする。 で69点:可)、[資格として授業実施 D(0点~59点:不可	5の出席率80%以	上を要件と	として			
使用	教材	コピック、水彩色鉛筆、コットマンハ	ーフパン他								
	朴学習 方法	提出課題の制作。									
学期	ターム	項目				内容·準備資料	等				
	1	オリエンテーション		授業説明·準備	勿確認・基礎	技術の復習・コピッ	ック作品制作(春 -	テーマ)			
	2	画力確認		コピック完成と提	出(春テーマ	')•作品発表会•次	回使用画材紹介	パステル			
3 パステル ・パステルの基礎技術・作品制作・次回使用画材紹介色鉛筆・水							《彩色鉛筆	£			
	4	色鉛筆・水彩色鉛筆		色鉛筆・水彩色	沿筆の基礎技	支術・作品制作・次		W&N			
	5	ウィンザー&ニュートン		W&Nの基礎技術	・次回使用画	画材紹介ポスカ	-				
6 ポスカ ポスカの基礎技術・作品制作・期末課題制作インフォメーション											
授	7	期末課題制作	画材特性を生か	生かした作品制作(ラフ確認)							

画材特性を生かした作品制作(中間確認・アドバイス)

画材特性を生かした作品制作(提出最終日)

作品発表会と振り返りアンケート

履修上の留意点

計

画

前

9

10

11

12

14 15 16 期末課題制作

期末課題制作

期末課題制作

期末試験フィードバック

期末試験フィードバック 期末試験フィードバック

課題回収

科	目名	アナログイラ	ラスト演習Ⅱ		指導担	!当者名	大坂	美智子			
実務	系経験						実務経験:				
開講	時期	通年 前期・後期	1	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	7スター科 2年			
授業	方法	講義:	演習	∄:0	実	· 習:	実	:技:			
時	間数	84時間		週時間数		3時	· 時間				
学習到	 達目標	・コミックイラスト表現に使用する・各種画材の特徴を活かした表 ・各種画材で自分の望む表現が	見が出来るよう!	こなること	-する						
学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点数 100点満点で評価している。 評価方法 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上をいる。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点: 優)、B(70点~79点: 良)、C(60点~69点: 可)、D(0点~59点: 不可)、の4段階評価とすの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。								し上を要件として			
使用	教材	コピック、水彩色鉛筆、コットマンハーフパン他									
	外学習 方法	提出課題の制作。									
学期	ターム	項目			Þ	內容·準備資料	資料等				
	1	オリエンテーション		授業説明、準備	物確認 作品コ	ンセプト・ラフ・使	用画材確認				
	2	作品制作		画材特性•陰影	を意識したイラス	ストのラフ制作					
	3	作品制作		画材特性•陰影	を意識したイラス	スト制作					
	4	作品制作		画材特性•陰影	を意識したイラス	スト完成・提出・発	€表会·次回作品	- 計「テーマイラス			
	5	作品制作 テーマイラストラフ制作(テーマ確認・テーマとイメージに合った画材選択)									
	6	作品制作		テーマイラスト制	制作 (中間確認	・アドバイス)					
授	7	作品制作		テーマイラスト制	制作(最終提出)						
業計	計 8 期末課題 世界観が伝わる背景や雑貨、動植物を										
画	9	期末課題		世界観が伝わる	る背景や雑貨、重	が植物を描いた作	F品制作(確認·	—————— 中間添削)			
後期	10	期末課題		世界観が伝わる	る背景や雑貨、重	が植物を描いた作	F品制作(最終研	 在認)			
	11	課題確認 世界観が伝わる背景や雑貨、動植物を描いた作品制作(最終提出日)									

期末課題の発表会と授業振り返りアンケート

履修上の留意点

12

13

14 15 16

発表

期末試験フィードバック

期末試験フィードバック

科目	1名	色彩棋	既論 I		指導担	当者名	志村	早織			
実務	経験						実務経験:	- I			
開講	時期	通年 前期・後期	月	対象学	科学年	グラフィックデザイン解、グラフィックデザインマスター制	6、マンガクリエ小科、コミックイラスト科、コミックマスター科、	動画・映像クリエハ·科、YouTuberクリエ・小・科 選択者			
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	習:	実	技:			
時間	引数	56時間		週時間数		2時	間				
学習到	達目標	色彩検定3級合格を目指す									
評価		数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点	学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上 を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。								
使用	教材	色彩概論テキスト									
授業を		・授業実施前後の予習と復習の徹底をする ・									
学期	ターム	項目			内	容•準備資料	*				
	1	オリエンテーション		授業趣旨説明	、簡単な実習						
	2	確認テスト色番号		教科書、問題領	集PCCS						
	3	確認テスト色のはたらきにつ	いて	教科書、問題第	集色のはたらき	・、色とイメージ	:				
	4	確認テスト光と色		教科書、問題集色はなぜ見えるのか、目のしくみ							
	5	確認テスト混色		教科書、問題集照明と色の見え方、加法混色、減法混色 対科書、問題集照明と色の見え方、加法混色、減法混色							
	6	確認テスト色の分類と三属性	<u>:</u>	教科書、問題領	集色の三属性、	等色相面					
授	7	確認テストPCCS色相		教科書、問題領	集色相、明度、	彩度、トーンの	イメージ				
業計	8	確認テストトーン記号		教科書、問題領	集色相とトーン	による色の表え					
画	9	確認テスト慣用色名①		教科書、問題領	集慣用句名、暖	受色と寒色					
前期	10	確認テスト色彩心理		教科書、問題領	集進出色と後述	見色、膨張色と	収縮色				
	11	確認テスト色対比と錯視		教科書、問題的		加果、色陰現象	、色の錯視				
ŀ	12	確認テスト色彩調和		教科書、問題領	集配色、色相か	いら配色を考え	る				
ŀ	13	確認テスト色彩効果		教科書、問題領	集配色技法、色	色彩と構成					
	14	レポート作成		まとめ							
	15	期末試験フィードバック									
	16	期末試験フィードバック									
履修上(修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施										

 科 E	名	—————————————————————————————————————	 既論 I			者名	志村	早織	
実務	経験						実務経験:		
開講	時期		 頻	対象学	科学年	フィックナザイン報、グラフィックナザインマスター報	1、マンガクリエの様、コミック・ケラスト様、コミックマスター様、	動画・被像クリエ小科、YouTuberクリエ小科 選択者	
		講義:○		習:	···· 実習:	:	実	技:	
時間	罰数	56時間		週時間数			<u> </u>		
学習到	達目標	色彩検定3級合格を目指す							
評価評価	方法	学期末試験の実施及び実習 数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点 る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と i.優)、B(70点	/テーションによ :認められる場∙ ~79点:良)、C	って行われ、受駅 合には追試験を9 60点~69点:可)	検資格として 単施する。 、D(0点~59	授業実施の出)点:不可)、の4	席率80%以上	
使用教材 色彩概論テキスト 授業外学習 各授業実施前後の予習と復習の徹底をする									
の方法 「日本の大法」 「日本の大法」 「日本の大法									
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
	1	確認テスト授業説明		教科書、問題:	ķ				
	2	確認テスト色彩と生活		教科書、問題集生活環境と色彩、生活環境とカラーコーディネーショ					
	3	確認テストファッションと色彩		教科書、問題はファッションとは	• •	ーディネート(こおける色彩。	基本的な力	
	4	確認テストインテリアと色彩		ファッションとは、ファッションコーディネートにおける色彩、基本的な力 教科書、問題集 インテリアとは、住宅インテリアの色彩					
	5	確認テストインテリアのカラー	-コーディネー?	、教科書、問題集 「インテリアのカラーコーディネーション、インテリアにおける色の心理 「インテリアのカラーコーディネーション、インテリアにおける色の心理					
	6	確認テストコーポレートカラー	-	教科書、問題:	・ 集 引色、インテリアに				
授	7	確認テスト慣用色名②			集慣用句名説明	.00.7 © 2.45		1,72,7	
業計	8	確認テスト過去問題		2017夏解答と	解説				
画	9	確認テスト過去問題		2017冬解答と	解説				
後 期	10	確認テスト過去問題		2018夏解答と	解説				
	11	確認テスト過去問題		2018冬解答と	解説				
	12	確認テスト過去問題		2019夏解答と	解説				
	13	色彩検定2級についての説明	月	次年度概要説	明				
	14	レポート作成		まとめ					
	15	期末試験フィードバック							
	16	期末試験フィードバック							
	修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施								

科目	1名	色彩梅	死論 Ⅱ		指導担	当者名	大坂	美智子		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	通年 前期・後期	月	対象学	科学年	グラフィックデザイン科、グラフィックデザインマスター!	料、マンガクリエ小科、コミックイラスト科、コミックマスター科	i、動画・映像クリエイト科、YouTuberクリエイト科 選択者		
授業	方法	講義:○	演	習:	実	달:	実	技:		
時間	引数	56時間		週時間数		2周	寺間			
学習到	達目標	色彩検定2級合格のためのヴァキスト、問題集、過去の検知識を身に付けていく。前期らしてサポート合格を目指して	定試験などで学 1回・後期1回フ	≐習を進める。フ アンケート実施し	カラーカードを依 し。疑問質問に	使用した実技を 答える時間を	・取り入れて、西 つくり受験に対	記色に関する する不安を減		
評価評価		学期末試験の実施及び実習 数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点 る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と ∷優)、B(70点~	√テーションによ :認められる場↑ ~79点:良)、C(って行われ、受 合には追試験を 60点~69点:つ	を験資格として 主実施する。 J)、D(0点~59	「授業実施の出 9点:不可)、の4	席率80%以上		
使用	教材	2級テキスト、3級テキスト、問題集、カラーカード等								
授業タ のプ		授業内容の予習、復習								
学期	ターム	項目			内	容∙準備資料	等			
	1	オリエンテーション		授業趣旨説明	、学習方法確認	忍・3級振り返り	リ・色彩動画観	賞·次回準備		
	2	確認テスト配色イメージ・色彩	調和生活と色	教科書、問題集、豆テスト・トーン別色相環制作・配色イメージと色彩調和						
	3	確認テスト配色イメージ・色彩	調和生活と色	教科書、問題第	集・豆テスト・色	彩調和				
	4	確認テスト色彩調和・色のUD	光と色	教科書、問題第	集・豆テスト・色	彩調和と色の	UD			
	5	確認テスト色のUD・光と色		教科書、問題第	集・豆テスト・色	のUDと光と色				
	6	確認テスト光と色・マンセル表	是色系	教科書、問題第	集・豆テスト・光	と色とマンセル	レ表色系			
授	7	確認テストマンセル・色彩心理	里・ビジュアル	教科書、問題第	集・豆テスト・マ	ンセル表色系	と色彩心理とじ	 ゙゙ジュアル		
業計	8	確認テストビジュアル・ファッ	ンョン	教科書、問題集・豆	テスト・ビジュアルと	ファッション・テキス				
画	9	テキスト確認テストファッション	ノ・インテリア	・テキスト前半部確認	テスト実施・教科書、	問題集ファッションと	とインテリア・期末テス	 くトインフォメーション		
前 期	10	確認テスト・インテリア・景観		教科書、問題第	集 インテリア・	景観色彩				
	11	確認テスト景観		教科書、問題第	集景観色彩					
	12	テキストまとめ		・テキストまとぬ	か・アンケート実	施・夏休み中	の宿題インフォ	-メーション		
	13	前期期末試験		期末試験・イン	フォメーション。	ヒアンケート実	 :施			
	14	前期振り返り								
	15	期末試験フィードバック								
	16	期末試験フィードバック								
履修上(え が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は、遠隔授業も		 資格を与えなし	`					

科目	1名	色彩柿	既論 II		指導担	当者名	大坂	美智子			
実務	経験						実務経験:				
開講	時期	通年 前期・後期・	9	対象学	科学年	グラフィックすずむ様、グラフィックすずむマスター	格、マンガクリエ・作称、コミック・イラスト科、コミックマスター相	6、動画・映像クリエイト科、YouTuberクリエイト科 選択者			
授業	方法	講義:〇	演習	習:	実習	필:	実	技:			
時間	引数	56時間		週時間数	1	2時	寺間				
学習到	達目標	色彩検定2級合格のための与テキスト、問題集、過去の検知識を身に付けていく。前期らしてサポート合格を目指して	定試験などで学 1回・後期1回	≦習を進める。フ アンケート実施	カラーカードを依 し。疑問質問に	∮用した実技を :答える時間を	・取り入れて、西 つくり受験に対	記色に関する けする不安を減			
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習 数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点 る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と i∶優)、B(70点~	/テーションによ :認められる場↑ ~79点:良)、C(たって行われ、受 合には追試験を (60点~69点:□	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	 授業実施の出 9点:不可)、の4	常率80%以上			
使用	教材	級テキスト、3級テキスト、問題集、カラーカード等									
授業を	卜学習 5法	受業内容の予習、復習									
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等				
	1	宿題回収・テキスト振り返り		•夏休み課題技	是出日·教科書	、問題集・過去	問各章ごと実	施と振り返り			
	2	各章の過去問実施		教科書、問題集・過去問各章テスト実施と振り返り							
	3	各章の過去問実施	去問実施教科			教科書、問題集・過去問各章テスト・実施と振り返り					
	4	各章の過去問実施		教科書、問題集過	去問各章テスト実	施・進捗確認アン	ケート実施・次回~	インフォメーション			
	5	確認テスト過去問題		過去問実施(7	'O分)·試験対		イント解説とテ	キスト振り返り			
	6	確認テスト過去問題		過去問実施(7	70分)•試験対	ー 策ポイント解説	とテキスト振り	り返り			
授	7	確認テスト過去問題		過去問実施(7	70分)•試験対	- 策ポイント解訪	とテキスト振り	り返り			
業計	8	確認テスト過去問題		2017夏解答と	解説						
画	9	確認テスト過去問題		2017冬解答と	解説						
後 期	10	確認テスト過去問題		2018夏解答と	————— 解説						
	11	確認テスト過去問題		2018冬解答と	解説						
	12	確認テスト過去問題		2019夏解答と	解説						
	13 後期期末試験			期末試験・イン	ノフォメーション。	 とアンケート実	施				
	14	後期振り返り									
	15	期末試験フィードバック									
	16	期末試験フィードバック									
履修上(修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 対面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施										

科目	1名	作品制作	作演習 Ⅱ		指導担	当者名	山田	直美		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	通年 前期・後期・	切	対象学	科学年	コミックイラスト	科、コミックマス	ター科	希望者	
授業	方法	講義:	演習	i:O	実 [·]	習:	実	技:		
時間	引数	56時間		週時間数		2時	計 間			
学習到	達目標	各自の設定した目標に合わり 制作スケジュールを管理する		作成、添削						
評価評価		学期末試験の実施及び実習 数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点 る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と i∶優)、B(70点・	√テーションによ :認められる場 ~79点:良)、C	たって行われ、5 合には追試験で 60点~69点:ī	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	授業実施の出)点:不可)、の4	席率80	0%以上	
使用	教材	各自制作内容に合わせて準	備							
授業を		受業内容の予習、復習 								
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等			
	1	自己紹介、授業内容説明		自己紹介、授業内容説明						
	2	企画書		企画の制作方	法					
	3	企画書		企画書制作	流行のテーマ	から選んで)				
	4	企画書		個別添削						
	5	スケジュール計画		作品制作スケ	作スケジュールを立てる					
	6	確認		企画書確認						
授 業	7	作品制作		作品制作、個別	引添削					
計	8	作品制作		作品制作、個別	引添削					
画	9	作品制作		作品制作、個別	引添削					
前 期	10	確認		制作進捗確認						
	11	作品制作		作品制作、個別	引添削					
	12	作品制作		作品制作、個別	引添削					
	13	確認		制作進捗確認						
	14	作品制作		前期目標スケ	 ジュールまで <i>0</i>)進捗確認				
	15	期末試験フィードバック								
16 期末試験フィードバック										
作品制作	出席率:	席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない 面授業が困難な際は、遠隔授業も併用実施								

科目	名	作品制作	F演習Ⅱ		指導担	当者名	山田	直美	
実務	経験						実務経験:		
開講	時期	通年 前期・後期	Я	対象学	科学年	コミックイラスト	科、コミックマスタ-	一科 希望者	
授業	方法	講義:	演習	1:0	実	習:	実技	:	
時間	引数	56時間		週時間数		2周	寺間		
学習到	達目標	各自の設定した目標に合わせ制作スケジュールを管理する		作成、添削					
評価評価		学期末試験の実施及び実習数配分し、100点満点で評価期末試験は実技試験や筆記を要件としている。期末試験成績評価は、A(80点~100点る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と ∷優)、B(70点~	√テーションによ :認められる場↑ ~79点:良)、C(:って行われ、5 合には追試験? (60点~69点:ī	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	授業実施の出席 9点:不可)、の4段	率80%以上	
使用	教材	各自制作内容に合わせて準備							
授業を		授業内容の予習、復習 内容・準備資料等							
学期	ターム	項目			内	容・準備資料	等		
	1	オリエンテーション		企画書確認					
	2	作品制作		作品制作、個別添削					
	3	作品制作		作品制作、個別添削					
	4	作品制作		作品制作、個別添削					
	5	確認		制作進捗確認					
	6	プレゼン確認		企画書で作った	たプレゼン形式	けの確認			
授	7	作品制作		企業依頼を想	定しての作品	制作			
業計	8	作品制作		企業依頼を想	定しての作品	制作			
画	9	作品制作		作品発表、添賞	—————————————————————————————————————				
後 期	10	作品制作		受験企業を想	定した作品制化	作			
	11	作品制作		受験企業を想	定した作品制作	作			
	12	作品制作		作品制作、個別	引添削				
	13	発表		作品発表確認					
	14	発表		作品発表確認					
	15	期末試験フィードバック							
16 期末試験フィードバック									
履修上(が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は、遠隔授業も		 資格を与えなし	`				

科目	1名	クロッキーデ	ッサン実習 Ⅱ		指導担	当者名	丸山	悦代		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	通年 前期・後期		対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科 2年		
授業	方法	講義:	演 [:]	習:	実習	3 :0	実	技:		
時間	間数	84時間		週時間数		3時	計間			
学習到	達目標	基礎的な描写力の向上と観察ドバック)を学ばせ、今後の作					カ、執着心、リ [・]	テイク、フィー		
	方法 基準	学期末試験の実施及び実習 数配分し、100点満点で評価 期末試験は実技試験や筆記 を要件としている。期末試験 成績評価は、A(80点~100点 る。A、B、Cの評価は合格と	している。 試験、プレゼン の結果、必要と ∷優)、B(70点・	/テーションによ :認められる場← ~79点:良)、C	って行われ、 合には追試験 60点~69点:	受験資格として を実施する。 可)、D(0点~59	授業実施の出)点:不可)、の4	席率80%以上		
使用教材 スケッチブック、画用紙、鉛筆・モチーフ等、デッサンの実授業外学習 デッサンの独習				引に必要と思え	つれるもの全般					
	↑学習 5法 	デッサンの練習								
学期	ターム	項目			Þ	内容•準備資料	等			
	1	オリエンテーション・手のデッ	サン	各生徒の自己紹介や	ウ講師紹介、授業の	情師紹介、授業の一年の流れ等の説明。 画材準備後、自らの手を描いてみる。				
	2	幾何石膏体		モチーフを計測する。円柱や立方体等の石膏立体を描く。						
	3	風景スケッチ		学校エリア内を散策し、スケッチする。						
	4	静物①(マグカップ)		各自、マグカッ	プを持参。単	純な日用品を描	はく 。			
	5	静物②(野菜or果物)		各自、野菜かり	果物を1個持参	。自然物を描 [、]	ζ.			
	6	静物③(お椀とお皿)		各自、円の構造	告体の日用品	を描く。				
授	7	静物④(箱)		各自、500ml0	か紙パックジュ		ゴ入りで描く。			
業 計	8	静物⑤(チョコレート)		各自、チョコレ	 トを持参。ケ	ースごと、ロゴ	入りで描く。			
画	9	静物⑥(バッグ、リュック)		各自、自身の	バッグもしくは	 リュックを描く。				
前期	10	静物⑦(中身入りペットボトル)	各自、ペットボ	トルを持参。沿	を 体と固形をデ	ッサンで表現す	- る		
	11	期末考査対象課題:自画像		喜・怒・哀・楽の中だ	いら表情をひとつ選	び、自画像を描く。名	各自、鏡を持参する。	, 2週連続の課題。		
	12	期末考査対象課題:自画像		喜・怒・哀・楽の中か	ら表情をひとつ選	び、自画像を描く。各	自、鏡を持参する。	 2週連続の課題。		
	13	発表		作品発表						
	14	まとめ		デッサン法の行	复習、まとめ					
	15	期末試験フィードバック								
	16	期末試験フィードバック								
履修上	出席率	 が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は 遠隔授業+。		L 資格を与えない	`					

科目	目名	クロッキーデ	ッサン実習 Ⅱ		指導拍	旦当者名	丸山	悦代		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	通年 前期・後期	胡	対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	スター科 2年		
授業	方法	講義:	演 [:]	習:	実	習: 〇	実	技:		
時間	引数	84時間		週時間数		3周	持間			
学習到	達目標	基礎的な描写力の向上と観察 ドバック)を学ばせ、今後の作	察力を重点的に F品制作に活か	こ養う。更に作っ いせる姿勢を身	品に対する向 に付けさせる。	き合い方(集中 。口	カ、執着心、リ ·	テイク、フィー		
評価方法 評価基準 使用教材		学期末試験の実施及び実習成果の評価の他、出席状況、授業課題としての作品、レポート等の提出状況などを点数配分し、100点満点で評価している。 期末試験は実技試験や筆記試験、プレゼンテーションによって行われ、受験資格として授業実施の出席率80%以上を要件としている。期末試験の結果、必要と認められる場合には追試験を実施する。 成績評価は、A(80点~100点:優)、B(70点~79点:良)、C(60点~69点:可)、D(0点~59点:不可)、の4段階評価とする。A、B、Cの評価は合格として単位を認定し、D評価の場合は不合格となり単位を喪失する。								
使用	教材	スケッチブック、画用紙、鉛筆	・モチーフ等、	デッサンの実習	習に必要と思れ	っれるもの全般				
	1学習 5法	デッサンの練習								
学期	ターム	項目			ŗ	内容•準備資料	等			
	1	スプーンを持った手		前期デッサンの	の復習と振り	区りをする。				
	2	スプーンを持った手 人物クロッキー①				区りをする。 ンやポージングの確認	製をする。生徒が交代	tでモデルをする。		
				クロッキーによって、	人体のプロポーショ					
	2	人物クロッキー①		クロッキーによって、 クロッキーによって、	人体のプロポーショ 人体のプロポーショ	ンやポージングの確認	恩をする。生徒が交代	けでモデルをする。		
	2	人物クロッキー① 人物クロッキー②		クロッキーによって、 クロッキーによって、 喜・怒・哀・楽の中か	人体のプロポーショ 人体のプロポーショ いら表情をひとつ選	ンやポージングの確認	思をする。生徒が交代 自、鏡を持参する。 (だでモデルをする。 3週連続の課題。		
	2 3 4	人物クロッキー① 人物クロッキー② 期末考査対象課題:自画像		クロッキーによって、 クロッキーによって、 喜・怒・哀・楽の中か 喜・怒・哀・楽の中か	人体のプロポーショ 人体のプロポーショ いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選	ンやポージングの確認ンやポージングの確認	思をする。生徒が交代 自、鏡を持参する。く 自、鏡を持参する。く	でモデルをする。 3週連続の課題。 3週連続の課題。		
授業	2 3 4 5	人物クロッキー① 人物クロッキー② 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像		クロッキーによって、 クロッキーによって、 喜・怒・哀・楽の中な 喜・怒・哀・楽の中な	体のプロポーショ 人体のプロポーショ いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選	ンやポージングの確認 ンやポージングの確認 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各	思をする。生徒が交代 自、鏡を持参する。く 自、鏡を持参する。く 自、鏡を持参する。く	されてモデルをする。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。		
業 計	2 3 4 5	人物クロッキー① 人物クロッキー② 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像		クロッキーによって、 クロッキーによって、 喜・怒・哀・楽の中な 喜・怒・哀・楽の中な	体のプロポーショ 人体のプロポーショ いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選	ンやポージングの確認 ンやポージングの確認 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各	思をする。生徒が交代 自、鏡を持参する。く 自、鏡を持参する。く 自、鏡を持参する。く	されてモデルをする。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。		
業 計 画	2 3 4 5 6 7	人物クロッキー① 人物クロッキー② 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像		クロッキーによって、 クロッキーによって、 喜・怒・哀・楽の中か 喜・怒・哀・楽の中か 喜・怒・哀・楽の中か 喜・怒・哀・楽の中か 作品発表	人体のプロポーショ 人体のプロポーショ いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選	ンやポージングの確認 ンやポージングの確認 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各	思をする。生徒が交代 自、鏡を持参する。、 自、鏡を持参する。、 自、鏡を持参する。、 自、鏡を持参する。、	代でモデルをする。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。		
業 計	2 3 4 5 6 7 8	人物クロッキー① 人物クロッキー② 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像		クロッキーによって、 クロッキーによって、 喜・怒・哀・楽の中が 喜・怒・哀・楽の中が 喜・怒・哀・楽の中が 喜・怒・哀・楽の中が 「お発表」 折り畳みの鏡と手	人体のプロポーショ 人体のプロポーショ いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選	ンやポージングの確認 ンやポージングの確認 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各	思をする。生徒が交代 自、鏡を持参する。、 自、鏡を持参する。、 自、鏡を持参する。、 自、鏡を持参する。、 にデッサンする。2	されてモデルをする。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。		
業計画後	2 3 4 5 6 7 8	人物クロッキー① 人物クロッキー② 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像	勿①	クロッキーによって、クロッキーによって、クロッキーによって、 喜・怒・哀・楽の中な 喜・怒・哀・楽の中な 喜・怒・哀・楽の中な 作品発表 折り畳みの鏡と手	人体のプロポーショ 人体のプロポーショ いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ンやポージングの確認 ンやポージングの確認 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各	思をする。生徒が交代 自、鏡を持参する。、 自、鏡を持参する。、 自、鏡を持参する。、 にデッサンする。2	ポでモデルをする。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 2週連続の課題。		
業計画後	2 3 4 5 6 7 8 9	人物クロッキー① 人物クロッキー② 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 発表 期末考査対象課題:卓上静物	勿 ①	クロッキーによって、クロッキーによって、クロッキーによって、 喜・怒・哀・楽の中な 喜・怒・哀・楽の中な 情・怒・哀・楽の中な 作品発表 折り畳みの鏡と手 自宅にある静物	人体のプロポーショ 人体のプロポーショ いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 なる表情をひとつ選 なる表情をひとつ選 なるも持参し を各自持参し、が	ンやポージングの確認 ンやポージングの確認 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 、外きなように構成 、好きなように構成	思をする。生徒が交代 自、鏡を持参する。、 自、鏡を持参する。、 自、鏡を持参する。、 にデッサンする。2 にデッサンする。2 デッサンする。2	でモデルをする。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 2週連続の課題。 2週連続の課題。		
業計画後	2 3 4 5 6 7 8 9 10	人物クロッキー① 人物クロッキー② 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 発表 期末考査対象課題:自画像 発表	勿① 勿① 勿②	クロッキーによって、クロッキーによって、クロッキーによって、 喜・怒・哀・楽の中か 喜・怒・哀・楽の中か 喜・怒・哀・楽の中か 作 品発表 折り畳みの鏡とき 折り畳みの鏡とき 自宅にある静物 自宅にある静物	人体のプロポーショ 人体のプロポーショ いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 を各自持参し、す を各自持参し、す	ンやポージングの確認 ンやポージングの確認 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 、好きなように構成 、好きなように構成し 好きなように構成し	思をする。生徒が交代 自、鏡を持参する。 自、鏡を持参する。 自、鏡を持参する。 にしデッサンする。2 にデッサンする。2 デッサンする。2 デッサンする。2	代でモデルをする。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 2週連続の課題。 2週連続の課題。 週連続の課題。		
業計画後	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	人物クロッキー① 人物クロッキー② 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 発表 期末考査対象課題:卓上静物 期末考査対象課題:卓上静物	勿① 勿① 勿②	クロッキーによって、クロッキーによって、クロッキーによって、 喜・怒・哀・楽の中か 喜・怒・哀・楽の中か 喜・怒・哀・楽の中か 作 品発表 折り畳みの鏡とき 折り畳みの鏡とき 自宅にある静物 自宅にある静物	人体のプロポーショ 人体のプロポーショ いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 を各自持参し、す を各自持参し、す	ンやポージングの確認 ンやポージングの確認 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 、好きなように構成 、好きなように構成し 好きなように構成し	思をする。生徒が交代 自、鏡を持参する。 自、鏡を持参する。 自、鏡を持参する。 にしデッサンする。2 にデッサンする。2 デッサンする。2 デッサンする。2	代でモデルをする。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 2週連続の課題。 2週連続の課題。 週連続の課題。		
業計画後	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	人物クロッキー① 人物クロッキー② 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 発表 期末考査対象課題:卓上静物 期末考査対象課題:卓上静物 期末考査対象課題:卓上静物	勿① 勿① 勿②	クロッキーによって、クロッキーによって、クロッキーによって、喜・怒・哀・楽の中が喜・怒・哀・楽の中が喜・怒・哀・楽の中が作品発表 折り畳みの鏡と手折り畳みの鏡と手手にある静物自宅にある静物	人体のプロポーショ 人体のプロポーショ いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 を各自持参し、す を各自持参し、す	ンやポージングの確認 ンやポージングの確認 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 、好きなように構成 、好きなように構成し 好きなように構成し	思をする。生徒が交代 自、鏡を持参する。 自、鏡を持参する。 自、鏡を持参する。 にしデッサンする。2 にデッサンする。2 デッサンする。2 デッサンする。2	代でモデルをする。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 2週連続の課題。 2週連続の課題。 週連続の課題。		
業計画後	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	人物クロッキー① 人物クロッキー② 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 期末考査対象課題:自画像 発表 期末考査対象課題:卓上静物 期末考査対象課題:卓上静物 期末考査対象課題:卓上静物 期末考査対象課題:卓上静物 期末考査対象課題:卓上静物	勿① 勿① 勿②	クロッキーによって、クロッキーによって、クロッキーによって、喜・怒・哀・楽の中が喜・怒・哀・楽の中が喜・怒・哀・楽の中が作品発表 折り畳みの鏡と手折り畳みの鏡と手手にある静物自宅にある静物	人体のプロポーショ 人体のプロポーショ いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 いら表情をひとつ選 を各自持参し、す を各自持参し、す	ンやポージングの確認 ンやポージングの確認 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 び、自画像を描く。各 、好きなように構成 、好きなように構成し 好きなように構成し	思をする。生徒が交代 自、鏡を持参する。 自、鏡を持参する。 自、鏡を持参する。 にしデッサンする。2 にデッサンする。2 デッサンする。2 デッサンする。2	代でモデルをする。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 3週連続の課題。 2週連続の課題。 2週連続の課題。 週連続の課題。		

科目	1名	著作样	を概論		指導担	当者名	矢田部	羽子 羽子		
実務	経験						実務経験:			
開講	時期	前期		対象学	科学年	コミックイラス	ト科、コミックマ	アスター科 2年		
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	習:	実	技:		
時間	間数	28 時間		週時間数		1週/2	28時間			
学習到	達目標	ビジネス著作権検定BASIC級	みの合格							
	方法 基準	・出席率・模擬試験点数評価 上記成績評価を100点満点で								
使用教材 ビジネス著作権検定 ベーシックテキスト			ックテキスト							
	授業外学習 テキストの復習等									
学期	ターム	項目			Þ	內容•準備資料	等			
	1	オリエンテーション/第1章 著	作権とは何か	試験概要説明/著作権の性質・著作権法の目的						
	2	第2章 著作権で保護される	もの ①	著作権で保護されるもの						
	3	第3章 著作権は誰が持つ		著作者の定義、著作者の例外、著作者と著作権者						
	4	第4章 著作権の内容①		著作権の内容 人格	S権と財産権、著作者	首人格権(公表権、氏:	名表示権、同一性保	持権、一身専属性)		
	5	第4章 著作権の内容②		財産権としての	の著作権、複象	y権、上映権、済	寅奏権、上演権	Ē		
	6	第4章 著作権の内容③		公衆送信権、	貸与権、譲渡	雀、頒布権、二 次	次的著作物	-		
授	7	第5章 著作権はいつまで保	護される	著作権の始期	、著作権の保	護期間、国際的	り保護			
業計	8	第7章 勝手に使える場合が	ある①	権利制限規定	、私的使用関	 係、付随的著作				
画	9	第7章 勝手に使える場合が		教育関係、図	書館関係、非常	営利無償の上濱	寅•演奏等、引月	———— 用転載関係		
前期	10	第8章 著作物を伝達する者を係	保護する制度①	著作隣接権と	は					
	11	第9章 勝手に使うとどうなる	か	著作権の侵害	!					
	12 第10章 著作権に関連する制度			知的財産権、	情報モラルと著					
	13	検定対策		模擬試験						
	14	期末試験		検定本番						
	15									
	16									
履修上	出席率	L 気 が80%に満たない場合は、期 業が困難な際は、遠隔授業も		<u>.</u> 資格を与えなし	۸,					

科目名		卒業制作			指導担当者名		山田	直美
実務経験							実務経験:	
開講時期		後期		対象学科学年		<i>'''</i> П	ックイラスト科	2年
授業方法		講義: 演		習:	実習∶○		実技:	
時間数		180時間		週時間数	6週/180時間			
学習到達目標		・卒業生:2年間の集大成として学んだことを発揮する						
評価方法 評価基準		・修了生:それぞれの学科の規定により定められた以上の分量、質で卒業生としての集大成となる作品制作をすることまた、学科内で行われるプレゼンテーションにて完成品を発表し、卒業修了制作展で作品展示をすること評価項目「作品の量」「作品の質」「完成度の高さ」「企画の質」「プレゼン能力」						
使用教材		それぞれの学科制作毎の規定に沿った画材、教材を使用する事						
授業外学習 の方法		制作にあたり、事前の企画・計画をそれぞれ複数の先生方と行い、チェックをもらう事						
学期	ターム (週)	項目	内容•準備資料等					
		作品制作開始		事前に準備していた企画・計画に沿ってそれぞれ制作にあたる				
	1	作品制作開始 		事前に準備して	いた企画・計画に	こ沿ってそれぞれ	れ制作にあたる	
		作品制作開始作品制作2			いた企画・計画にながら制作を進		れ制作にあたる	
	2			個別添削を行い	ながら制作を進	めていく	れ制作にあたる :企画についても	
	2	作品制作2		個別添削を行い	ながら制作を進	めていく		
	2	作品制作2		個別添削を行い中間発表を行い可視化していく	ながら制作を進	めていく		
	2	作品制作2		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ	ながら制作を進い、プレゼンテージンテーションを実	めていく ション準備と展示		
授	2	作品制作2		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ 学科担任、学科	ながら制作を進 、プレゼンテーションを ンテーションを 非常勤講師、学	めていく レヨン準備と展示 配施 科内学生全てで	企画についても	ョンを聞く
業 計	2	作品制作2		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ 学科担任、学科	ながら制作を進 、プレゼンテージンテーションを実 非常勤講師、学 ・展示計画・	めていく レヨン準備と展示 配施 科内学生全てで	:企画についても :プレゼンテーシ:	ョンを聞く
業	2 3	作品制作2作品制作3		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ 学科担任、学科 ・制作のポイント 各教室での展示	ながら制作を進 、プレゼンテージンテーションを実 非常勤講師、学 ・展示計画・	めていく ション準備と展示 R施 科内学生全てて プレゼン能力 ・	企画についても プレゼンテーショ	ョンを聞く
業 計	2 3	作品制作2作品制作3		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ 学科担任、学科 ・制作のポイント 各教室での展示 また、プレゼンラ	ながら制作を進 ンプレゼンテージ ンテーションを実 非常勤講師、学 ・展示計画・ 計画と準備、 ニーションで受け	めていく レョン準備と展示 群内学生全てて プレゼン能力・ た指摘の修正と	企画についても プレゼンテーショ	ョンを聞くなど
業計画後	2 3 4 5	作品制作2 作品制作3 学科内プレゼンテーション 発表を受けての修正と展示準備		個別添削を行い中間発表を行い可視化していく学科内でプレゼ学科担任、学科・制作のポイント各教室での展示また、プレゼン・展示計画の基本	ながら制作を進 ンプレゼンテージ ンテーションを実 非常勤講師、学 ・展示計画・ 計画と準備、 ニーションで受け	めていく レヨン準備と展示 を施 科内学生全てで プレゼン能力・ た指摘の修正と 部の一般来場者	企画についても プレゼンテーシ: 資料の見やすさ 追加制作 を入れての作品	ョンを聞くなど
業計画後	2 3 4 5	作品制作2 作品制作3 学科内プレゼンテーション 発表を受けての修正と展示準備		個別添削を行い中間発表を行い可視化していく学科内でプレゼ学科担任、学科・制作のポイント各教室での展示また、プレゼン・展示計画の基本	ながら制作を進い、プレゼンテーシンテーションを実非常勤講師、学・・展示計画・活計画と準備、ニーションで受けずき展示をし、外がの見どころの紹力	めていく レヨン準備と展示 を施 科内学生全てで プレゼン能力・ た指摘の修正と 部の一般来場者	企画についても プレゼンテーシ: 資料の見やすさ 追加制作 を入れての作品	ョンを聞くなど
業計画後	2 3 4 5	作品制作2 作品制作3 学科内プレゼンテーション 発表を受けての修正と展示準備		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ 学科担任、学科・制作のポイント 各教室での展示 また、プレゼンラ 展示計画の基本・学科内の作品 *学科内シフトに	ながら制作を進い、プレゼンテーシンテーションを実非常勤講師、学・・展示計画・活計画と準備、ニーションで受けずき展示をし、外がの見どころの紹力	めていく レョン準備と展示 科内学生全てて プレゼン能力・ た指摘の修正と 部の一般来場者 介・一般来場者	企画についても プレゼンテーシ: 資料の見やすさ 追加制作 を入れての作品	ョンを聞くなど
業計画後	2 3 4 5	作品制作2 作品制作3 学科内プレゼンテーション 発表を受けての修正と展示準備		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ 学科担任、学科・制作のポイント 各教室での展示 また、プレゼンラ 展示計画の基本・学科内の作品 *学科内シフトに	ながら制作を進 、プレゼンテージ ンテーションを実 非常勤講師、学 ・展示計画・ ・計画と準備、 ・ーションで受け がき展示をし、外 の見どころの紹言 より登校	めていく レョン準備と展示 科内学生全てて プレゼン能力・ た指摘の修正と 部の一般来場者 介・一般来場者	企画についても プレゼンテーシ: 資料の見やすさ 追加制作 を入れての作品	ョンを聞くなど
業計画後	2 3 4 5	作品制作2 作品制作3 学科内プレゼンテーション 発表を受けての修正と展示準備		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ 学科担任、学科・制作のポイント 各教室での展示 また、プレゼンラ 展示計画の基本・学科内の作品 *学科内シフトに	ながら制作を進 、プレゼンテージ ンテーションを実 非常勤講師、学 ・展示計画・ ・計画と準備、 ・ーションで受け がき展示をし、外 の見どころの紹言 より登校	めていく レョン準備と展示 科内学生全てて プレゼン能力・ た指摘の修正と 部の一般来場者 介・一般来場者	企画についても プレゼンテーシ: 資料の見やすさ 追加制作 を入れての作品	ョンを聞くなど
業計画後	2 3 4 5	作品制作2 作品制作3 学科内プレゼンテーション 発表を受けての修正と展示準備		個別添削を行い 中間発表を行い 可視化していく 学科内でプレゼ 学科担任、学科・制作のポイント 各教室での展示 また、プレゼンラ 展示計画の基本・学科内の作品 *学科内シフトに	ながら制作を進 、プレゼンテージ ンテーションを実 非常勤講師、学 ・展示計画・ ・計画と準備、 ・ーションで受け がき展示をし、外 の見どころの紹言 より登校	めていく レョン準備と展示 科内学生全てて プレゼン能力・ た指摘の修正と 部の一般来場者 介・一般来場者	企画についても プレゼンテーシ: 資料の見やすさ 追加制作 を入れての作品	ョンを聞くなど

- の留息点 ・出席率が80%に満たない場合は、プレゼンテーション機会を与えない ・プレゼンテーションにて不合格だった場合、修正し、翌週期限を設け再プレゼンテーションを実施 そこで一定の評価があれば合格とする